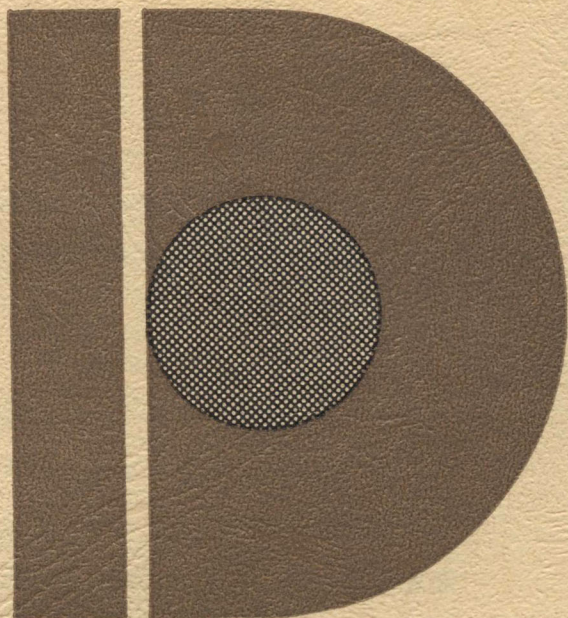


昭和45年度

官公立産業デザイン機関

調査研究項目一覧

付 内外産業デザイン団体名簿



財団法人 日本産業デザイン振興会

は し が き

日本産業デザイン振興会では創立二年目を迎えて本年度は各位のご期待に沿うべく種々本格的な事業を計画しております。とくに本年度は日本自転車振興会の競輪資金より出版事業につき資金援助を得ましたので、その一つの事業として本誌を発刊することにいたしました。

ご承知の通り、国立・公立の各調査研究機関では、その永き伝統のもとに種々有意義な調査、研究、指導等を実施されてきております。これらの研究、調査項目だけでも広く全国の関係各位にご紹介することによつて、特に中小企業者各位のみならず各デザイナーその他関係者各位が何等かのヒントを得られ、又重複調査の労が省け得たらという念願のもとに本誌を発刊いたしました。

また、今回は第二部として「国内各産業デザイン団体機関名簿」を、第三部として「海外主要産業デザイン団体名簿」を掲載させていただきました。今日まで産業デザイン団体を網羅した名簿がありませんでしたので、この際これを集成しようと試みました。特に地方産業デザイン団体等については未だ調査不十分な点も多分にあるかと存じますが、今後とも各位のご指示ご連絡を得て逐次修正補追し完全なものにして行きたいと願つています。

当振興会では、既に発行された「デザイナー名簿」とこの団体名簿と、さらに「全国各企業のデザイン部課名簿」との三者を併せて、追つて名実共は「産業デザイン名鑑」として集成いたしたいと望んでいます。

斯様なわけで、私共は今後とも各位のご指導とご協力とを切にお願い申しあげる次第であります。

本誌作成に当つては、都道府県庁ならびに製品科学研究所内にある日本工芸技術協会の多大のご支援を得ましたことを厚くお礼申し上げます。

昭和45年7月15日

財団法人 日本産業デザイン振興会
専務理事 石田 幸一

目 次

は し が き

第 I 部 昭和45年度官公立試験研究機関・調査研究項目(69機関)

1. 国立試験研究機関(2機関)	5頁
(1) 工業技術院製品科学研究所	5
(2) 工業技術院名古屋工業技術試験所	6
2. 地方公設試験研究指導機関(67機関)	7
(1) 北海道・東北地方(10機関)	7
(2) 関東・甲信越・静地方(15機関)	19
(3) 東海・北陸地方(7機関)	33
(4) 近畿地方(11機関)	40
(5) 中国地方(7機関)	49
(6) 四国地方(6機関)	55
(7) 九州地方(11機関)	59

第 II 部 国内各産業デザイン団体機関名簿

1. 通商産業省(8機関)	71
2. 地方行政機関(55機関)	71
(1) 各地方通商産業局(8局)	71
(2) 都道府県庁主管部課(47課)	72
3. 国立・地方公設試験研究指導機関(136機関)	73
(1) 国立試験研究機関(3機関)	73
(2) 地方公設試験研究指導機関(133機関)	74
4. 官・公・私立大学および各種学校(70校)	80
(1) 国立大学(8大学)	80
(2) 公立大学(3大学)	80
(3) 私立大学(9大学)	80
(4) 短期大学(18短大)	81
(5) 各種学校(31校)	82
5. 中央・地方産業デザイン団体(104団体)	83
(1) 中央公共団体(6団体)	83
(2) 地方公共団体(98団体)	84
(イ) 東北・北海道地方(9団体)	84
(ロ) 関東・甲信越・静地方(30団体)	84
(ハ) 東海・北陸地方(20団体)	85
(ニ) 近畿地方(19団体)	86
(ホ) 中国地方(10団体)	87
(ヘ) 四国地方(4団体)	87
(ニ) 九州地方(6団体)	87
6. 全国検査機関(23機関)	88
(1) 国立試験研究機関(3機関)	88
(2) 地方公設検査機関(20機関)	88

第 III 部 海外主要産業デザイン団体名簿(117機関)

第 IV 部 公設試験研究所のデザイン研究内容紹介

105

第 I 部 昭和 45 年度試験研究
機関調査研究項目

第 I 部 昭和 4 5 年度 試験研究機関・調査研究項目

1. 国立試験研究機関

※ 各研究機関の住所・電話番号等は第 2 部の 3 章を参照のこと。し。

(1) 工業技術院製品科学研究所

製品科学研究所は、人間工学、材料工学、そしてシステムティックデザインなどの研究ポテンシャルを活用して製品の機能性、快適性、安全性、耐久性などの属性についての評価技術と、消費者の立場にたった製品のあり方、その計画の手法などの研究をすすめている。

デザインに関する特別研究としては、通商産業省における、輸出品の品質、意匠の向上に関する事業の一環としておこなっている「輸出向軽工品のデザイン改善研究」がある。当所における昭和 4 5 年度の計画は、つぎの通りである。

1. 平板構造のジョイントに関する研究

住宅産業の発展により、工業生産による可動壁面、室内装備品が普及しつつあるが、人間生活の多様性に対する配慮に欠け、住環境の機能を十分果していないうらみがある。この部品化、ユニット化の傾向のなかに、生活の多様性を確保するためには、ジョイントの研究が重要である。この研究では、内外製品の結合方式の分類、力学的支持条件の解析、結合機構の開発、その効果としての居住性の問題などが、その内容となっている。

2. 幼児童の発達特性と用具類の関連性に関する研究

幼児童用具の高級化をはかるため、備えなければならぬ諸条件を幼児心理学に明確にし、デザイン手法の開発をはかるもので、幼児の行動特性、用具の使われ方、環境に対する反応の仕方の研究を中心にすすめていく。

3. 先導商品の開発研究

商品開発の能力をたかめるため、家具では生産性のたかい構造に、玩具では、いかに教育性を付与するかを目標としてオリジナルデザインの展開をはかる。

また経常研究としては、次のテーマを計画している。

1. 生活環境における視覚効果の研究

良質な生活の確保のため、環境をソフトウェアとして扱い、色彩、パターンの心理的空間構成の研究をする。

2. デザイン要因の体系化の研究

人間、製品、環境のシステムから製品がもたねばならぬ要因を分析し、その総合によるデザインプロセスの研究をする。

3. 生活の多様性に即応する室内機能の研究

生活行動の独立性を分析し、それを確保するためのハードウェアについて設計し、提案する。

4. 児童の空間意識の発達過程の研究

児童の発育心理学的考察により、児童の行動、空間意識、嗜好色など関心要素を抽出し、デザ

イン資料とする。

(2)工業技術院名古屋工業技術試作所

1. 当所でのデザイン研究としては、陶磁器意匠の研究があげられる。研究の対象は主として輸出用陶磁器であって、外国意匠の影響を脱却して日本の意匠を基調とする国際性のある先導的製品の開発を目差している。研究を進めるにあたっては、製品の目的を的確に把握して、材質、機能、製造技術、生産性、市場性などの要素をふまえ、現代性を貫く意匠を創造する方針で臨んでいる。

貿易振興および経済協力費による輸出用陶磁器意匠改善研究試作を昭和31年より行なっている。最近の研究では、昭和43年度より3年計画で陶磁器を卓上面に用いたテーブル類を対象とする意匠の研究試作を行なっている。昭和43年度はティ-テーブルについて硬質陶器の卓上面を、昭和44年度はワゴンについて磁器の卓上面を研究試作した。昭和45年度はストーンウェア（炆器）を卓上面としたデナ-テーブルを取り上げる。

経常研究では、クラフト新意匠の研究、磁器染付に関する意匠技術の研究などを行ってきた。

2. 昭和45年度の計画

輸出用陶磁器意匠改善研究試作では、前述のようにデナ-テーブルの卓上面を対象とした器について研究する。炆器の材質感を主とし、化粧土による刻文技術を用い、日本の意匠を基盤とする卓上面を研究試作する。

また研究員1名を10カ月間イギリスに派遣する。

3. 経常研究

昭和45年度から研究項目を次のように改め当分これらの項目で継続する方針である。

中項目 陶磁器の意匠に関する研究

小項目 先導商品の新意匠の研究

1) 低融合金の溶着による室内用品の研究

2) 石版下絵転写の新転写紙と密着の研究

3) ニューレリ-フによる食卓用品の研究

小項目 意匠技術の研究

1) 釉間、釉上染付の意匠技術の研究

2) 化粧土印刷の転写の研究

2. 地方公設試験研究指導機関（67機関）

※ 各研究機関の住所・電話番号等は第2部の第2章を参照せられたし。

(1) 北海道・東北地方（10機関）

イ) 北海道立工業試験場

種別	項目	担当者	備考
研究	1. スキ-の品質向上の研究	竹内, 松藤 菅又, 田栗	◎
	2. 家具工場の生産管理技術の研究	竹内, 鎌田, 田中 江田, 斉藤, 安田	◎
	3. 合成木材による家具試作試験	竹内, 田中, 江田, 安田 斉藤, 坂本, 百井, 田栗	◎
指導	1. 家具, 建具巡回技術指導（5地区25工場）	竹内	◎
	2. 家具, 建具簡易巡回指導（5地区72工場）	竹内	◎
	3. 木彫簡易巡回指導（4地区28工場）	江田, 斉藤	◎
	4. 試作品展示講習会（2地区）	竹内	◎
	5. 家具生産管理技術講習会	竹内	◎
	6. 木彫生産技術講習会	江田, 斉藤, 坂	◎
行事	試作品出品		
	1. 全道家具建具展		◎
	2. 全国試験所展		◎
	3. 全道観光民芸品展		◎

(ロ) 北海道立林産試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	北海道製材工業の構造改善に関する諸調査	黒 田 一 郎	継
	木質残廃材の利用に関する調査	森 滋	継
	木質プレハブ建築材料の部材化に関する調査	黒 田 一 郎	継
研 究	(重点研究)		
	製材の二次加工に関する技術開発研究	神 和雄 鈴木 弘 小野寺重男 倉田 久敬	継
	道材合板の生産技術改善に関する研究	鈴木 弘 小倉 高規	継
	木質材料の保存性向上に関する研究	森 滋 布村 昭夫	継
	木質残廃材の化学的利用に関する研究	森 滋 高橋 弘行	継
	(経常研究)		
	製材工場の経営合理化に関する研究	鈴木 弘 北沢 暢夫 堤 浩 小杉 隆至 倉田 久敬	継
	複合材料に関する研究	神 和雄 小野寺重男 池田 修三	継
	繊維板およびパーティクルボードの材質向上に関する研究	鈴木 弘 神 和雄 新納 守 波岡 保夫 高橋 裕	継
	ネマガリタケの利用に関する研究	鈴木 弘 堤 浩 新納 守 高橋 裕	継
	木質物の改質に関する研究	種田 建造	継

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	食用菌の品種改良および栽培の合理化に関する研究	信太 寿	㊟
指 導	道内木材産業に対する巡回技術指導	黒田	㊟
	木質系構造用複合材料の製造技術指導	神 和雄 小野寺重男	㊟
	大型木質平面材料の製造技術指導	小野寺重男 小倉 高規	㊟
	木材および木質材料の曲げ加工技術指導	小野寺重男 池田 修三	㊟
	有節材の高度利用技術に関する指導	鈴木 弘 倉田 久敬	㊟
	木質残廃材の有効利用技術に関する指導	森 滋 高橋 弘行	㊟
	木材切削加工技術指導	北沢 暢夫 倉田 久敬	㊟
行 事	科学技術週間における場内公開	4月16～17日	当 場
	木工機械実演展および場内公開	8月24～30日	"
	開設20周年記念特別講演会および公開座談会	8月27～28日	旭川市
	カラマツ材の利用に関するシンポジウム	10月下旬	"
	木製品の高級化に関する生産技術向上研究成果普及講習会	11月	"
	木材接着技術講習会	1月	札幌市
	木材乾燥技術講習会	2月	"
	木質構造材料製造技術講習会	2月	旭川市

(二) 青森県工業試験物

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	1. 工芸技術緊急調査〔漆芸〕文化庁 2. 漆工芸産業集大成資料日本漆工〔協〕	望 月 技 師	㊦
研 究	1. 意匠に関する研究 ○ 伝統的パターンの近代化 ○ 卓上用品素地デザイン ○ 固有工芸デザイン 2. 漆器素地に関する研究 ○ 木 材 ○ 合成素地 3. 漆塗装と研摩技術 ○ 現物実験 ○ 合成下地剤	青 木 真 博 望 月 好 夫 小田桐 勝 衛 藤 田 清 正 木 村 正 男	㊦
指 導	1. 共同作業場設立に伴う指導 2. 各種展示会出品〔マルU …〕指導 3. 塗装機器の取扱技術と効果 4. 研究生、練習生の受託指導	各 担 当 者	
行 事	1. 漆器素地〔合成素地〕講習会 2. 中小企業技術者研修〔漆工〕 3. 産地簡易巡回指導 4. 産地巡回指導 5. 全 試 展 6. 弘前クラフト展 7. 試験所発表展示会	中 期 工 芸 コ ー ス 東 京 松 屋 青 森 デ ー ト	

(六) 青森県木工指導所

種 別	事 項	担 当 者	備 考
調 査	家具のデザイン動向調査	意 匠 課	㊦
	全国工芸関係公試共同テーマ事項の調査	” ”	㊦

種 別	事 項	担 当 者	備 考
	デザイン分科会協同調査研究事項の調査	意 匠 課	◎
	加工技術調査	工 作 課	◎
	新材料に関する調査	" "	◎
	県内木工事情実態調査	" "	◎
	塗装技術動向調査	塗 装 課	◎
	木材乾燥施設並びに木材乾燥状況調査	材 料 課	◎
研 究	家具のデザイン研究	意 匠 課	◎
	加工の合理化研究	工 作 課	◎
	強化プラスチック合板スキ-の弾性試験研究	" "	◎
	製材の二次加工開発研究	" "	◎
	曲面加工による家具生産技術研究	" "	◎
	機械加工の精度研究（技術分科会共同テ-マ）	" "	◎
	木材着色剤の標準色作成に関する研究	塗 装 課	◎
	北洋材建具の適正塗装の研究	" "	◎
	木材乾燥試験，研究	材 料 課	◎
	天乾材の期間別含水率の測定	" "	◎
指 導	家具および曲物のデザイン指導	意 匠 課	◎
	量産工場に対する加工技術指導	工 作 課	◎
	小規模企業に対する技術指導	" "	◎
	一般工場に対する集団指導	" "	◎
	共同事業の推進と生産指導	" "	◎
	管理意識の啓蒙指導	" "	◎
	受託技術指導	各 課	◎
	塗装技術の向上指導	塗 装 課	◎
	巡回総合指導参加	" "	◎
	巡回技術指導実施	" "	◎
そ の 他	デザイン講習会	意 匠 課	10月 東京都
	全国試験所作品展示出品参加	各 課	10月 青森市

種 別	事 項	担 当 者	備 考
	青森県木工祭出品参加	各 課	11月 八戸市
	北日本産業振興博出品参加	" "	
	年報の発行	工 作 課	
	各種資料の配布	各 課	

(ㄨ) 岩手県工業試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
研 究	○木材及木質材の加工技術の改善に関する研究	手 塚 部 長	㊦
	○木竹製品の試作研究	手 塚 部 長	㊦
	○鋳鉄工芸品の意匠並びに試作研究	池 上 部 長	㊦
	○漆並びに漆製品の品質向上に関する試作研究	古 関 専 研	㊦
	○雑貨工芸意匠の研究	池 上 部 長	㊦
	○包装意匠の研究	内 村 専 研	㊦
指 導	○木製品の生産技術指導	手 塚 部 長	㊦
	○木工生産技術講習会等の開催及び参考品の出陳	手 塚 部 長	㊦
	○産業意匠の現地指導	池 上 部 長	㊦
	○意匠講習会、展示会の開催	池 上 部 長	㊦
	○巡回技術指導 (木工関係4産地)	招 聘 講 師	㊦

(ㄒ) 秋田県工業試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	東北地方のクラフト産地調査	佐野 技師 高橋 工作 技師	㊦
	輸出向木製品の産地調査	同 上	㊦
	コッピングマシン加工による製品の市場調査	石山 技師 高橋 工作 技師	㊦
	建具デザインに関する市場調査	内海 専門研究員 河内 技師	㊦

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	家具デザインにおける部分デテールの市場調査	河内 技師	㊟
	幼児用遊具に関する市場調査	石山 技師	㊟
	木製建具の加工技術調査	児玉工作 技師	㊟
	特殊木工〔スキ-〕加工技術調査	目黒 技師	㊟
	木工生産技術調査	工藤木工 科長	㊟
	木製家具の動向調査	五十嵐主任工作技師	㊟
研 究	秋田の民族資料に関するデザインの展開と活用研究について	佐野 技師	㊟
	幼児用遊具に関するデザイン研究	石山 技師	㊟
	特殊機械（コッピングマシン）応用による木製品のデザイン研究	内海専門研究員	㊟
	建具に関するデザイン研究	河内 技師	㊟
	手工芸技法的家具の量産化に関する試験研究	工藤木工 科長	㊟
	特殊木工〔スキ-〕生産技術に関する試験研究	目黒 技師	㊟
	木工生産技術の試験研究	工藤木工 科長	㊟
	各種木工用接着剤による接着効果試験研究	目黒 技師	㊟
	外装用建具の適正塗装技術の研究	近藤 技師	㊟
指 導	輸出向新規製品開発事業によるデザイン指導	佐野 技師	㊟
	産地における研究会グループに対するデザイン指導	佐野 技師	㊟
	拠点工場における家具のデザイン巡回指導	内海専門研究員	㊟
	クラフトデザイン講習会および講演会の開催〔家具建具〕	同 上	㊟
	展示会の開催	同 上	㊟
	技術相談およびデザイン調整	同 上	㊟
	変型切削加工技術講習会	工藤木工 科長	㊟
	特殊木工〔スキ-〕接着技術講習会	同 上	㊟
	塗装技術改善講習会	同 上	㊟
	拠点工場技術指導	同 上	㊟
	新製品開発技術指導	内海専門研究員	㊟
	秋田県優良建具展	同 上	㊟

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	塗装技術コンクール	工藤木工科長	◎

㊦ 山形工業試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	家具およびクラフトデザインの動向調査	三浦専門研究員 山中技師	◎
	新材料の塗装技術資料調査	伊藤科長	◎
	家具用プラスチック加工技術資料調査	森谷専門研究員	◎
	主要設備機械の精度調査	田丸技師	◎
研 究	家具デザイン研究	山中技師	◎
	クラフトデザイン研究	三浦専門研究員	◎
	木材、木質材の切削条件と仕上加工精度に関する研究	田丸技師 菅原技師補	◎
	各種新材料と木材との複合技術と切削技術に関する研究	森谷専門研究員 菅原技師補	◎
	木材塗装工程の省力化に関する研究	大津技師	◎
	金属の塗装技術に関する研究	佐々木技師	◎
指 導	巡回技術指導（国庫補助）	招聘講師及び 担当科員	
	簡易巡回技術指導（国庫補助）	”	
	工業技術稼働相談（市町村との連繫）	担当科員	
	塗装の機械化と工程の省力化	”	
	金属塗装技術の改善	”	
	接着技術の改善と適正利用	”	
	刃物研削技術と管理	”	
	木製家具の商品企画とデザイン改善	”	
鋳造、窯業製品のデザイン改善	”		

ウ) 山形県立庄内木工指導所

種別	項目	担当者	備考
調査	(1) 製品及び部材の寸法調査	デザイン係	新
	(2) 建具用材の含水率調査	木工係	新
	(3) 塗装機器及び作業場の実態調査	塗装係	新
研究	(1) 若人向き家具のデザイン研究	藤原	新
	(2) 収納家具のノックダウン形式デザイン研究	今野	継
	(3) 木材の人工乾燥に関する研究	金野	継
	(4) 超硬質丸鋸の切削性に関する研究	金野, 高橋	継
	(5) 北洋材の塗装加工技術に関する研究	戸塚, 千田	技術開発費補助 金事業(共同研究)
指導	(1) 製品及び部材の統一化	今野, 藤原	新
	(2) 加工機械の調整管理と刃物管理の適正	金野, 高橋	新
	(3) 資材管理の適正	" "	継
	(4) 塗装作業の機械化と環境改善	戸塚, 千田	継
	(5) 着色剤及び塗料の適正使用について	" "	継
委託	(1) 木製品のデザイン調整とレイアウト	デザイン係	
	(2) 各種刃物研究	木工係	
	(3) 木材及び製品の各種加工	木工, 塗装係	

エ) 福島県会津若松工業試験場

種別	項目	担当者	備考
調査	家具の量産化と機械設備の調査	角田文男	
	小木工品の加工技術について	"	
	新商品の開発調査	"	
	プラスチック素地の漆塗装の調査	小林清之助	
	印刷加飾技術調査	須藤紀雄	
	塗装技術の調査	佐藤滝美	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	加飾技術の調査 窯業原料の調査 " 石膏型使用による成形技術の調査 中央市場調査 陶磁器デザイン調査	須 藤 紀 雄 渡 辺 正 夫 高 橋 幸 衛 佐 藤 重 徳 長谷川 善 次 "	
研 究	印刷技術利用による加飾の研究 スプレ-塗装による作業標準の研究 桐材利用による漆器の試作研究 プレコート素地利用による板物漆器の研究 家具の新商品の開発と試作研究指導 鋸刃の切削技術に関する研究 小木工の加工技術の研究 木材の含水率変動による接着強度の試験 県内対象地の窯業原料の基礎的研究 粘度瓦, 煉瓦の成形性に合致する成形土の研究 石膏型使用による成形粘土の研究 各品種に対応する焼成技術の研究 輸出向商品の新製品デザインの研究 伝統パターン開発利用商品化の研究 工芸品に於ける異種材の組合せ及びコンビネーションによる商品化の研究	須 藤 紀 雄 佐 藤 滝 美 小 林 清之助 小 林 清之助 佐 藤 滝 美 須 藤 紀 雄 佐 藤 滝 美 小 林 清之助 須 藤 紀 雄 佐 藤 滝 美 小 林 清之助 須 藤 紀 雄 角 田 文 男 小 森 光 雄 角 田 文 男 角 田 文 男 角 田 文 男 小 森 光 雄 高 橋 幸 衛 佐 藤 重 徳 渡 辺 正 夫 佐 藤 重 徳 佐 藤 重 徳 渡 辺 正 夫 高 橋 幸 衛 渡 辺 正 夫 長谷川 善 次 佐 藤 隆 " "	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	圧縮成形作業標準設定の研究 低発泡樹脂利用による新商品の開発研究 物性試験と成形品との関連研究及び成形品への 応用	木 村 弘 " " " "	
指 導	木工技術の巡回実地指導 漆工技術の巡回実地指導 窯業技術の巡回実地指導 プラスチック技術の巡回実地指導 デザイン巡回実地指導 木工技術に関する講習会 漆工技術に関する講習会 窯業技術に関する講習会 デザインに関する講習会 プラスチック技術に関する講習会 巡回技術指導（国補） " "	角 田 文 男 佐 藤 滝 美 小 須 林 清 之 助 須 藤 紀 雄 高 橋 幸 衛 渡 辺 正 夫 佐 藤 重 徳 木 村 弘 長谷川 善 次 佐 藤 隆 角 田 文 男 佐 藤 滝 美 須 藤 紀 雄 高 橋 幸 衛 渡 辺 正 夫 佐 藤 重 徳 長谷川 善 次 佐 藤 隆 木 村 弘 佐 藤 滝 美 角 田 文 男 高 橋 幸 衛	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	所内設備利用指導	吉 田 技 師 土 屋 技 師 坂 爪 技 師	㊟

(ロ) 栃木県中央工業指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査 研 究	ノックダウン家具と金具の 設計研究 育児用家具の試験研究 小木工品のデザイン設計研究 プラスチック・コア材に対する各種性能の試験研究 合成樹脂注入各種材の比較試験研究 主用木材の予備乾燥について 木材切削における超硬工具の試験研究 塗装技術と塗装システムの改善についての研究 四角竹、胡磨竹の製法研究 球状黒鉛鋳鉄の熱処理効果について セミラック工具の刃部形状による工具寿命の影響について 超硬工具のチップブレイカー及びチップフォーマーの切屑状態に及ぼす影響について	中谷企画意匠部長 谷 田 貝 技 師 " 小川主任 研究員 加藤主任 研究員 和 田 技 師 若 林 技 師 植 竹 技 師 若 林 技 師 植 野 技 師 佐 藤 技 師 芝 崎 技 師 葭 田 工 芸 部 長 井 口 技 師 齊 藤 技 師 機 械 金 属 部 全 員 " "	2 年 継 続

(ハ) 群馬県工業試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	住宅産業むけ家具デザインの傾向調査 家具雑貨工芸品の実態調査 木工機械の精度検査と加工材の寸法精度の調査	産 業 意 匠 課 員 生 産 技 術 課 員 石橋, 石田, 中沢 梅山	㊟ ㊟ ㊟

種 別	項 目	担 当 者	備 考
研 究	家具木製品の意匠開発に関する研究	栗林, 岩崎, 松野	新
	育児家具デザインに関する研究	岩崎, 松野	継
	合成木材の性能, 塗装に関する研究	栗林, 福田	継
	家具木製品の開発研究	中沢, 梅山	継
	木材乾燥に関する研究	石田, 中沢	継
	木製品の品質基準に関する研究	石橋, 石田 中沢, 梅山	新
	藤製家具に関する試作研究	田村, 大島	新
編組技術改善に関する研究	田村, 大島	継	
指 導	木工巡回技術指導	生産技術課員	45. 9. 前橋市
	家具材料, デザイン講習会	産業意匠課	45. 8. 当場
	巡回技術指導	生産技術課	45.5~11県-円
	木工技術講習会	"	45. 9. 前橋市
	生産技術講習会	"	46. 3. "
	技術者研修	"	45. 6~8 "

(二) 埼玉県工芸試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	県内外産業工芸品のデザイン調査	デザイン課 4人	継
	県内外産業工芸品の技術調査	技術第一課 5人	継
	県内外プラスチック製品の技術調査	技術第二課 5人	継
研 究	家具建具等木製品のデザインおよび試作に関する新製品開発研究	デザイン課 技術第一課 9人	継
	移輸出向産業工芸品のデザインの高度化に関する研究	デザイン課 技術第一課 6人	継
	木材および高分子材料の接着塗装に関する研究	技術第一課 技術第二課 4人	継
	プラスチック新材料による家具建具軽工芸品等のデザインおよび試作に関する研究	デザイン課 技術第二課 4人	新
	生産工程における作業分析に関する研究	技術第一課 2人	新

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	低発泡樹脂の射出成形に関する研究	技術第二課 5人	⑧
	エンジニアリングプラスチックの成形条件と実用特性に関する研究（共同研究）	技術第二課 5人	⑧
	北洋材の水分管理に関する研究（共同研究）	技術第一課 技術第二課 4人	⑧
指 導	デザイン講習会		⑧ 6月 飯能市
	木工技術講習会		⑧ 7月, 8月, 9月 10月 県内各地
	プラスチック成形技術講習会		⑧ 5月, 9月, 11月 県内各地
	巡回技術指導（家具, プラスチック）		⑧ 8月, 9月 県内各地
	埼玉県優良建具展示会講評会		⑧ 9月 飯能市
	埼玉県試験場作品展		⑧ 10月 大宮市
	埼玉県工業デザインコンクール		⑧ 2月 浦和市

㈣ 千葉県工業試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	デザインの動向調査	デザイン課 全 員	⑧
研 究	フレキシブル家具のデザイン研究	森 田 技 師 塚 本 技 師	⑧
	雑貨, 観光みやげ品の新製品研究	野 口 課 長 沢田, 塚本技師	⑧
	テキスタイルデザインの研究	沢 田 技 師	⑧
	市販接着剤の接着強度試験	矢 野 課 長 成 毛 技 師	⑧
	発泡樹脂成形の基礎研究	成 毛 技 師 砂 金 技 師	⑧

種別	項目	担当者	備考
	木工機械の加工精度に関する研究	矢野 課長 山崎, 成毛 技師	◎
	家具の試作研究	山崎 技師 平 沢 技師	◎
	雑貨工芸品の試作研究	矢野 課長 八木沢 技師	◎
指導	室内装備品, 雑貨類のデザイン指導	デザイン課	◎
	木工技術巡回指導	矢野 課長 山崎, 成毛 技師	◎
	木工技術指導会	工芸課	◎
	千葉県家具振興会	工芸課	◎
	計量デザイン研究会	デザイン課	◎

(ウ) 東京都立工業奨励館

種別	項目	担当者	備考
研究	児童用品のデザインに関する研究	小滝 節夫 金 沢 公彦	◎
	量産家具のデザインに関する研究	小滝 節夫 金 沢 公彦	◎
	スクリーン印刷条件と再現性に関する研究	岡本 通 横 沢 佑治	◎
	木材・合成樹脂家具の表面処理に関する研究	鴫田 正利	◎
	木材の研削に関する研究	早川 登	◎
	簡易型に関する研究	手塚 昇	◎
指導	業界を対象とした研究会		

(ト) 神奈川県工芸指導所

種別	項目	担当者	備考
調査	木製雑貨商品のデザイン傾向の調査	工芸意匠研究班	◎

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	県内家具業界の実態調査	生産意匠研究班	⑧
	国内外の室内用品デザイン調査	横 浜 分 室	⑧
	鎌倉彫技術の調査	鎌 倉 支 所	
研 究	木製食卓厨房用品の開発研究	プロジェクト・チーム	⑧ 工 芸 意 匠 工 芸 技 術 塗 装 技 術
	指物類のデザイン開発研究	"	⑧ " " "
	住環具デザイン開発研究	"	⑧ 生 産 意 匠 生 産 技 術
	照明器具のデザイン開発研究	"	⑧ 工 芸 意 匠 工 芸 技 術
	木製人形玩具生産技術利用によるギフト用品の デザイン開発試作研究	工 芸 意 匠 研 究 班	⑧
	木製雑貨工芸品の技術改善研究	工 芸 技 術 研 究 班	⑧
	編組技術の改善と応用に関する試作研究	"	⑧
	基礎加工技術実験研究	生 産 技 術 研 究 班	⑧
	木工加工機の自動化専用機化の実験研究	"	⑧
	木材の可塑化と薬剤含浸処理による成型加工試 験研究	"	⑧
	着色剤並びに塗膜の性能に関する研究	塗 装 技 術 研 究 班	⑧
	個有工芸技術の育成試作研究	企 画 室 各 研 究 班	⑧
	鎌倉彫商品デザイン研究	鎌 倉 支 所	⑧
指 導	木竹雑貨商品デザインの改善指導	工 芸 意 匠 研 究 班	
	個有工芸技術の近代的利用に関する指導	"	
	家具類のデザイン指導	生 産 意 匠 研 究 班	
	竹製品の加工技術指導	工 芸 技 術 研 究 班	
	木材の加工技術指導	生 産 技 術 研 究 班	
	塗装技術、機器についての指導	塗 装 技 術 研 究 班	
	鎌倉彫のデザイン指導	鎌 倉 支 所	
	家具デザイン及び技術についての指導	横 浜 分 室	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	木工技術者研修講座	企 画 室 工 芸 意 匠 班	7.8.9 月中夜間 定員30名 於小田原 箱 根
	鎌倉彫技術者研修講座	鎌 倉 支 所	8 月中・夜間 定員20名於支所
	輸出向指物類デザイン講習会	プロジェクトチーム	工芸意匠 工芸技術 塗装技術 於小田原
	輸出向木製厨房用品デザイン講習会	"	" " 於小田原 "
	住環具デザイン講習会	"	生産意匠 生産技術 於小田原
	生産加工技術講習会	生産技術研究班	於小田原
	竹工技術講習会	工芸技術研究班	於小田原
	鎌倉彫技術講習会	鎌 倉 支 所	46.3 於 鎌 倉
	鎌倉彫青年研究会	"	45.7. 46.2 於 鎌 倉
	鎌倉彫巡回指導	"	鎌倉地区

(丙) 神奈川県工業試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
研 究	工業製品の機能とフォルムの研究 テキスタイル、デザインのモチーフの研究	宇 都 宮 弘 藤 牧 元 次 郎 根 道 明 子 影 山 明 子	非常勤技術指導 平面デザイン 田中正明 軽工業デザイン 佐々木仁 スカーフ等色彩 デザイン 稲村幸江 テキスタイル 佐藤 努
指 導	依頼デザイン製作研究 デザイン技術指導	宇 都 宮 弘 根 道 明 子 影 山 明 子 藤 牧 元 次 郎 宇 都 宮 弘 根 道 明 子 影 山 明 子 藤 牧 元 次 郎	
調 査	内外情報収集		

(リ) 横浜市中心企業指導センター

種別	項目	担当者	備考
調査 研究	塗装技術の改善に 関する研究	技術史員 赤堀郁彦	⑧
	雑貨デザインの研究試作	"	⑧
	スクリーン印刷デザインの研究	技術史員 乾定夫	⑧
	繊維デザインの研究	"	⑧
	スクリーン印刷技術の改善に関する研究	技術史員 野木一男 鈴木隆夫	⑧
	写真製版技術の研究	技術史員 綿貫茂	⑧
	めつき技術の改善に関する研究	技術史員 鈴木信由 三宅恒幸	⑧
指導	家具塗装技術講習会		⑧ 7月開催
	繊維デザイン講演会		⑧ 6月開催
	繊維デザイン研修会		⑧ 9月
	スクリーン印刷講習会		⑧ 8月開催
	めつき技術講習会		⑧ 2月開催
	技術者養成(2~3ヶ月)		めつき, スクリーン印刷
	工場実施指導 技術相談		

(ヌ) 山梨県木工指導所

種別	項目	担当者	備考
調査	木製家具のデザインに関する調査	西山主幹, 浅川技師	⑧
	建具, 竹製品, 観光みやげ品に関する調査	" "	⑧
研究	緊結構造と材料の強度に関する研究	田中係長, 中島技師 井沢技師, 鶴田技師 工藤技師	⑧

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	木製品の高級化に関する研究	田中係長, 中島技師 井沢技師, 鶴田技師 工藤技師	◎
	木材加工の機械化に関する研究	向山係長, 井沢技師 浅川技工員	◎
	木材乾燥に関する研究	向山係長, 井沢技師	◎
指 導	デザインに関する巡回指導	西山主幹, 浅川技師 工藤技師	◎
	塗装に関する巡回指導	田中係長, 工藤技師	◎
	接着剤および接着に関する指導	井沢技師, 鶴田技師	◎
	木材乾燥, 水分管理に関する指導	向山係長, 井沢技師	◎
	木工機械, 刃物研磨に関する指導	向山係長, 浅川技師	◎

(4) 山梨県立研磨工業指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	海外工芸事情の調査研究及び紹介	工芸係長 中 村 宗 明	◎
	海外研磨技術の調査及び紹介	研削係長 窪 田 忠 実	◎
研 究	デザインに関する研究	工芸係長 中 村 宗 明	◎
	精密速心鑄造に関する研究	"	◎
	多量少量生産に適する簡易金形の研究	技 師 岩 下 昭 吾	◎
	倣い機構による彫刻加工に関する研究	技 師 藤 巻 誠	◎
	水晶発振子完成品製造に関する研究	技 師 角 田 幸 夫	◎
	特殊磁器の加工研究	"	◎
	バレル研磨法の技術研究	技 師 山 下 久 雄	◎
	ラップ低石類治工具の開発研究	技 師 上 野 正 雄	◎

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	異形丸玉加工法の研究	技 師 岩 下 昭 吾	㊦
	原石着色法の改良研究	研削係長 窪 田 忠 実	㊦
	貴金属合金法の研究	技 師 生 野 静 男	㊦
	宝石鑑別法の高度化研究	技 師 山 下 久 雄	㊦
指 導	宝石学及び宝石鑑別法の指導	技 師 山 下 久 雄	㊦
	貴金属品位検定に関する指導	技 師 生 野 静 男	㊦ 随 時
	技術指導講習会及び研究会		㊦月平均3回
	巡回実地指導及び宝鋳石加工法の指導		㊦ 随 時
	装身具デザイン実地実技指導		㊦ 随 時 中央各市主催
	展示会の参加		㊦展示会に出品 (年4回)
	技術研修生の入所受託指導		㊦長期及び短期 期の指導
	その他硬胞材加工技術指導		㊦ 随 時

(ウ) 長野県工業試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
研 究	北洋材の加工特性に関する研究	城 田 技 師 林 技 師 徳 武 技 師	㊦
	カラマツ材脱脂技術の実用化および切削加工技術に関する研究	大工原 研究員 林 技 師 日 向 技 師	㊦
	家具の緊結法とデザインへの応用研究	今 泉 研 究 員 太 田 技 師	㊦
	被着性と表面アラサの関連性に関する研究	永 井 技 師 城 田 技 師	㊦
	含水率と塗装仕上げの相関性に関する研究	山 本 研 究 員 吉 田 技 手	㊦

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	スキ-振動試験装置の開発に関する研究	大江原 研究員 林 技 師	㊦
	プラスチックと木材との複合パネルに関する研究	吉 田 技 師	㊦
指 導	巡回技術指導	木 工 部	㊦

㊦) 新潟県工業技術センター

種 別	項 目	担 当 者	備 考
(経常) 研 究	輸出家具のデザイン研究及び試作	工 芸 高野室長 加 茂 横田場長 高 田 笠原課長	㊦
	金属洋食器及び金属ハウスウェアのデザイン研究及び試作	工 芸 高野室長	㊦
	竹藤製品及び漆器のデザイン研究及び試作	工 芸 岡田科長 佐 渡 安藤技師	㊦
	プラスチック製品のデザイン研究	工 芸 高野室長	㊦
	家具構造と耐候性に関する研究	加 茂 横田場長	㊦
	合成木材の加工性と家具への利用化研究	加 茂 高橋課長	㊦
(特別) 研 究	スキ-の振動特性試験に関する研究	センター(技術第一研 高 田 究室) 竹内場長	㊦ 技術開発研究費 補助金
(経常) 研 究	スキ-設計と特性に関する研究	高 田 竹内場長	㊦
	合成樹脂複合材の同時成形法の研究	センター(技術第一研 高 田 究室)	㊦
	(オールプラスチックスキ-の同時成形法の研究)	高 田 竹内場長	㊦
	フィルム接着剤の利用に関する研究	高 田 竹内場長	㊦
そ の 他	家具の塗装標準試験	加 茂	
	合成木材加工用丸鋸の刃形に関する試験	加 茂	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	各種構成材の適性度と利用化試験 農機具部品加工の簡易半自動化試験	高 田 "	
指 導	(4月) 場内開放並に試験機器の実演指導会 新潟県家具塗装標準手板選定会 (5月) 金属製品デザイン講習会 家具塗装標準研究委員会並に手板選定会 第5回新潟県建具製作技術コンクール (6月) 竹藤製品デザイン講習会 新塗料と塗装技術講習会 各種材料の利用講習会 (7月) 中小企業中期技術者研修(工芸) 新材料説明会 (8月) 塗装技術講習会 (9月) 家具デザイン講習会 木材切削技術講習会 (10月) 合成木材加工技術講習会 切削技術講習会 既製建具加工技術講習会 (11月) スキ-の特性試験と高品質化技術講習会 (1,2月) 建具生産技術講習会 (毎月第3木) 金属洋食器・ハウスウェア研究会 (毎月15日) 家具デザイン研究会 (年8回) 竹藤製品デザイン・加工技術指導所 (隔 月) スキ-生産技術研究会 木工生産技術研究会 (年 間) 事業内職訓指導	加 茂 " 工 芸 加 茂 " 工 芸 高 田 " 工芸・加茂(7月～ 9月) 高 田 加 茂 高 田 加 茂 " 高 田 " 加 茂 工 芸 " " 高 田 " 工芸・加茂	

カ) 静岡県工業試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	人体計則	猪俣 他	◎
	ジョイント研究	鈴木, 原, 河原崎 上田, 清水	◎
	木工機械の精度検査と加工材の寸法精度調査	池上, 榊原, 大石	◎
研 究	木工業の生産管理技術に関する研究	金子, 土屋, 大石 金沢, 桜井	◎
	木製品の生産図面法研究	土屋, 猪俣, 田辺 鈴木, 上田, 清水 大石	◎
	輸出雑貨研究	土屋, 猪俣	◎
	育児用具研究	松谷, 田辺	◎
	北洋材の変形, 切削加工技術に関する研究	鈴木, 原, 河原崎 上田, 坂田, 和田 大石, 森, 内田	◎
	住宅用家具のコージネート化研究	鈴木, 原, 河原崎 上田, 清水	◎
	木工用塗料の研究		◎
	1) 研磨アラサと塗装効果の研究	金子, 藤田	◎
	2) 塗装の変色	増井, 藤田	◎
	3) 塗装及びシンナーの分析	坂田	◎
	4) 着色剤の研究 (技術分科会)	増井	◎
	5) ポリエステル樹脂塗膜ピンホールに関する研究	坂田	◎
	6) ツヤ消塗料の研究	藤田	◎
	金属用塗料の研究		◎
	1) 錆止塗装	金子	◎
	新材料の研究		◎
	1) 硬質発泡ウレタン樹脂の成形	金子, 坂田, 増井 藤田	◎
2) プラスチック用塗料	金子, 坂田, 増井 藤田	◎	
複合構成材の研究	和田, 大石, 神長 池上, 榊原	◎	
木材加工技術に関する研究	"	◎	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	木製品の塗装技術に関する研究 木製品の接着技術に関する研究	森, 内田 金沢, 桜井	
指 導	日本優秀商品輸出推進計画 工業デザイン教室 楽器デザイン教室 サンダルデザイン教室 藤枝, 大井川鏡台家具工業団地, 産女家具, ひな具共同工場, その他県内企業のマイクロバス巡回技術指導, 簡易巡回技術指導	工 芸 部 工 芸 部 工 芸 部 工 芸 部 工 芸 部	4月~ 2月 10月~11月 5月・11月 6月・10月
講習会 展示会 その他	全国試験場試作品展示会 デザイン技術講習会(製図) デザイン講座 家具デザイン教室 製 図 法 木工技術講習会 接着技術研究会	工芸部 工業技術院 工芸部 産業デザイン協会 工芸部 産業デザイン協会 工芸部 輸出家具振興会 産業デザイン協会 工芸部 産業デザイン協会 工芸部 日本輸出雑貨センター 工 芸 部	10月 東 京 都 12 ~ 2月 静 岡 市 12 ~ 2月 静 岡 市 5 ~ 11月 静 岡 市 5月 藤 枝 市 2月 6 ~ 9月 静 岡 市
技 術 者 研 修	工芸学中期コース	工芸部 産業技術協会	静 岡 市

(3) 東海・北陸地方(7機関)

※ 各研究機関の住所・電話番号等は
第2部第3章を参照せられたし。

(イ) 富山県工業試験場

種別	項目	担当者	備考
研究	○乾燥合理化研究	木工係	新 4～3月
	○スキ-接着性能試験法研究	"	新 4～7月
	○異種材の接着技術研究	"	新 4～6月
	○発泡プラスチックを用いた新しい木質複合技術研究	"	新 4～12月
	○木製品製造工程の自動化技術研究と指導	"	新 4～3月
	○流動性鋳型の美術鋳物への利用研究	金工係	新 4～3月
	○塗膜研磨研究	塗装係	新 4～6月
	○下塗り塗膜の欠陥研究	"	新 4～3月
	○樹脂成型品の塗装研究	"	新 10～3月
	○木材着色標準化研究	"	新 4～3月
	○競合商品の調査研究	意匠係	新 4～3月
	○鋳物工芸品の商品分析(置物)	"	新 4～3月
	○団地向け家具試作研究	魚津分室	新 4～12月
○木彫刻品加飾技術試作研究	井波分室	新 4～3月	
指導	○第9回富山県デザインスクール	意匠係	新 7月
	○漆器共同工場技術指導	後藤技師	新 8～11月
	○企業における開発担当職員の研究開発能力育成指導	木工係	新 4～3月
	○鋳物砂処理および管理指導	金工係	新 4～3月
	○魚津漆器の品質向上指導	魚津分室	新 4～3月
	○挽物木地の合理化指導	井波分室	新 4～3月
	○計画指導業務	意匠係	新 8～9月
	○研究会、講習会の開発	各係	新 4～3月

(ロ) 富山県木材試験場

種別	項目	担当者	備考
調査	複合板の狂いに関する調査	元木英生 長谷川智 天野良一	㊦ 45.4～45.12 県内主要家具 工場 当試験場
	切削加工における刃物研削技術と製品精度に関する調査	吉田直隆 石黒信二 島崎鶴雄	㊦ 44.9～46.9 県内主要製材 工場,家具工場 当試験場
	家具用材の乾燥技術に関する調査	中川宏隆 吉田直了 高野一	㊦ 44.6～46.4 県内主要木材 加工工場 当試験所
研究	低質木材を原料とする成型板の製造に関する研究	中川宏生 元木福高 福高野了 英総一郎	㊦ 44.10～47.3 当試験所
	北洋材の加工性（鉋削，乾燥，接着）に関する研究	中川宏隆 吉田直英 元木福高 福高野了 英総一郎	㊦ 44.4～47.3 当試験場
	北洋材による集成板類の製造およびその性能向上に関する研究	吉田直隆 茅原正毅 長谷川	㊦ 44.10～47.3 当試験場
	木毛セメント板の製造に関する研究	茅原正毅 竹中本建 水	㊦ 44.10～46.10 当試験場
指導	開発技術促進講習会	中川宏	45.10 当試験場
	中堅技術者講習会	} 吉田直隆 元木英生	45.12
	材質試験方法研修会		46.2

(リ) 石川県工業試験場

	項目	担当者	備考
調査	住まいの環境デザインの調査	意匠第二科	㊦
研究	複合模様撮影装置応用デザイン研究	意匠第一科 平元・宮田	㊦

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	木工技術指導	西村・市川・畝田 水野	
	金工技術指導	西村・水野・高野 石田	
	特産品産地振興現地指導（輪島）	橋本・上島	
	” ” （山中）	”	
特定指導	漆器，小木2品，プラスチック製品のデザイン指導	意 匠 第 二 科	
	含浸木材応用による技術指導	技 術 科	

(二) 岐阜県工芸試験場

	項 目	担 当 者	備 考
調 査	県内木製玩具工場の実態調査	文書と現場調査	①
	春慶漆器業界の実態調査	”	②
	使用木材の傾向調査	”	③
研 究	○ 基礎試験		
	・合成樹脂注入による木製玩具の開発研究	田中（重）技師	①
	・北洋材の改質技術と利用開発	”	①
	・木材及び木質材料の可塑性と複合構成技術	”	①
	・ルーターによる楕円ホゾ孔の接合強度向上研究	中山主任技師	①
	・プレナー屑の成型に関する研究	”	①
	・日本産漆と中国産漆の混和条件について	川上専門研究員	②
	○ 家具建具等改良研究		
	・木製玩具加工技術に関する研究	木工科全員	①
	・フラッシュ構造の反狂防止及び強度向上に関する研究	平野主任技師 脇田技師	②
	○ 塗装研究		
	・木製品に対する染色塗装研究	東主任技師 中西技師	②

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	<ul style="list-style-type: none"> ・寒冷期における漆液乾燥の適正について 	小島 専 門 研 究 員	㊦
	○ デザイン研究		
	<ul style="list-style-type: none"> ・成型部材を利用した木製玩具の試作研究 	山腰 専 門 研 究 員 井 主 任 技 師	㊦
	<ul style="list-style-type: none"> ・木口面の特性を利用した木製玩具の試作研究 	" "	
	県下各地区に対する現場巡回技術指導 (岐阜, 西濃, 中濃, 東濃, 飛騨)	場 長 以 下 全 員	㊦ 年 4 回
	講習会, 研究会の開催	"	㊦
	<ul style="list-style-type: none"> ・建具加工技術 		年 2 回
	<ul style="list-style-type: none"> ・切削研削技術 		"
	<ul style="list-style-type: none"> ・接着技術 		"
	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装技術 		"
	<ul style="list-style-type: none"> ・漆工技術 		"
	<ul style="list-style-type: none"> ・木材乾燥と管理技術 		"
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質向上対策指導講習会 		"
	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン改善指導会 		年 5 回
	展示会の開催	"	㊦
	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県工芸試験場展 		46年2月 高山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県木工デザイン展 		" "
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体展示会 		北 区 業 種 別
	技術者の養成指導	"	㊦
	<ul style="list-style-type: none"> ・工業技術生 (春慶塗後継者) 6 名 		
	関係団体の育成指導	"	
	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県木工連合会 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県木工デザイン協会 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨春慶技術保存協議会 		

内 愛知県工業指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
自主研究	室内装備品の適正色研究	稲 垣 隆 二	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	建具, 家具装備の住宅壁面化研究	神 戸 門 嗣	
共同研究	北洋材の接着技術に関する研究	片 岡 辰五郎	
指 導	工業デザインに関する指導 集成材の製造技術に関する指導		

(ノ) 愛知県産業貿易館

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	総 括	若 園 晃	
相 談	・デザイン相談	全 員	
調 査	・デザイン振興機関設立準備調査	森 本 彬 子 健	㊦
指 導	・日本優秀デザイン商品輸出推進事業 ・機械デザイン実施巡回指導 ・産業デザイン講座 ・海外参考品収集ならびに展示 ・ニッポングッドデザインショー '70 ならび に日本輸出デザイン展(名古屋会場)の開催	森 本 田 明 健 夫 森 本 彬 子 健 森 本 彬 子 健 森 本 田 明 健 夫 全 員	㊦ 現地指導 ㊦ 年4回実施 ㊦ 時期 6月中旬 場所 当館地下 教室 ㊦ ㊦ 時期 10月 場所 当館展示 場

(ハ) 三重県工業試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	木工業の廃材の有効利用に関する調査	岸 技 師	㊦
研 究	新設計による家具の試作研究	清 水 技 師	㊦

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	塗膜乾燥の条件に関する試験研究	香 川 技 師	新
指 導	家具デザインの啓蒙指導	工 芸 係 全 員	新
	木材加工技術指導	"	新
	接着技術指導	"	新
	塗装技術指導	"	新
	巡回技術指導（4産地20工場）	"	新

(丙) 伊勢市工芸指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	雑貨産業に関する各種情報資料調査	小 林	新
	木工分野に於けるプラスチックの利用について		新
研 究	雑貨工芸品，土産物，デザインの研究	遊 免	新
	くりもの治具工具の改善		新
	FRP応用製品の研究	西 中，遊 免	新
	雑貨工芸品，土産物，新規開発に関する試作研究	西 口，菅 生	新
指 導	雑貨工芸品，デザインならびに加工技術指導		
	木製品，雑貨工芸品，品質改善指導		
	玩具月例研究会		毎月1回
	木工生産技術講習会		

(4) 近畿地方(11機関)

(イ) 福井県工業試験場 ※ 各機関の住所・電話番号等は第2部
第3章を参照せられたし。

種別	項目	担当者	備考
研究	北洋材の塩分除去に関する研究	課長	新
	人工乾燥による品質管理の研究	伊藤技師	継
	塗装技術の向上と標準化に関する研究	村西技師	継
	住宅産業における新建材の応用研究	高橋技能員	新
	プラスチック(F. R. P)に関する試作研究	河内技師	継
	漆器デザインに関する研究	上田囑託	継
	和紙デザインに関する研究	斉藤技師	継
	製版技術に関する研究	〃	継
	全試展出品に関する研究	全員	新
指導	特産業界の指導(眼鏡枠, 漆器, 和紙)		
	巡回技術指導(家具建具, プラスチック, 和紙眼鏡)		
	簡易巡回指導(家具建具, メノ-)		
	木材乾燥に関する講習会		10月
	プラスチックデザイン講習会		11月
	眼鏡枠に関する講習会		1月
	漆器デザインに関する講習会		2月
	和紙デザイン技術研究会		3月
	福井県家具建具展示会		9月
	研修生に関する指導		

(ロ) 武生市工業試験場

種別	項目	担当者	備考
調査	住宅における家具の配置に関する調査	荒木	新
	既存家具・建具, 写真集作成に関する調査	荒木	継

種別	項目	担当者	備考
研究	組子細工の加工技術に関する研究	森川	◎
	組子細工の応用デザインに関する研究	森川・荒木	◎
	発泡材料による家具に関する研究	荒木・森川	◎
	クラシック家具に関するデザイン研究	荒木	◎
指導	組子細工応用に関する指導	森川・荒木	◎
	クラシック家具・凶集配付	荒木	◎
	福井県家具・建具・塗装展	全員	◎
	木工に関するデザイン・加工・塗装材料の指導	荒木・森川	◎

(ウ) 京都市工業試験所

種別	項目	担当者	備考
研究	各種素地に対する適性塗装法の研究	中, 山内, 三木, 加藤	◎
	静電塗装に関する研究	"	◎
	電着塗装に関する研究	光村, 東出, 白田	◎
	LP炉焼成による雰囲気変化と色素地及び銅釉の発色に関する研究	磯松, 大西, 北村, 浅見	◎
	ゼーゲル錐の製造研究(成型法の改善)	日比野, 田中, 浜口他	◎
	特産工芸品の表現的機能に関する研究(伝統技法及パターンの分析)	中, 大西, 村上, 桑原, 林, 山内, 飯田, 吉竹	◎
指導	陶磁器技能者養成第14回 本科生 15名 専修科生 1名	関係者全員	◎
	伝統工芸技能者養成第4回 陶人形科 10名		◎
	展示会 第4回工業試験場指導工芸展		◎ 46年2月 丸 物
	第11回金工展(京都金属工芸研究会)		◎ "
	第12回竹工芸展(京都竹工芸研究会)		◎ "
	第17回木工芸展(京都木工芸研究会)		◎ 45年6月 南 禅 寺
	「木工芸大阪展(")」		◎ 45年7月 三 越
	講習会 工芸デザインと商品化		◎ 45年8月 当 場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	講演会 静電塗装 電着塗装 窯業技術		⑩ 45年8月 当 場 ⑩ 46年3月 当 場 ⑩ 45年6月 11月 46年1月
	研究会 陶磁器技術研究発表会 金工デザイン 竹工デザイン 木工デザイン		⑩ ⑩ ⑩ ⑩
	審議会 京都工芸デザイン保護審議会		⑩

(二) 京都府立中小企業総合指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	伝統産業における生産技術調査 漆器乾燥室の実態調査	工芸技術課全員	
研 究	伝統産業における合成樹脂の応用研究 木工、漆器の加工技術の研究 金属工芸品の簡易溶接技術の研究 伝統産業における省力化研究 デザインの開発研究 機械化試作研究（漆器乾燥室） 新製品の試作研究	米 田 大 西 松 岡 森 岡 南 北	
指 導	巡回指導 技術講習会 伝統産業青年会デザイン講習会（週1回9カ月） 木竹材の漂白 金属工芸品の溶接 塗漆表面研磨		

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	技能者養成講座 彫 塑 色彩造形		(週1回6カ月) (週1回6カ月)

内) 大阪府立工業奨励館東大阪分館

種 別	研 究 項 目	担 当 者	備 考
公害研究	シアンを使用しない亜鉛メッキに関する研究	小 西 三 郎 江 口 晴一郎 水 田 和 男	⑧
先導商品 の開発	軽金属製インテリア製品のデザイン試作 建築用照明器具の開発試作	小 島 基 泰三 伊 賀 寛 雄 上 田 良 夫 鈴 木 良 夫 平 田 文 郎 佐 藤 修 修	⑧ ⑧
技術開発	プラスチック成形の高度化研究 ダイカスト製品の塗装法の研究 アルミ及びアルミ合金の陽極酸化処理技術基準 の確立に関する研究	西 井 康 夫 里 見 英 一 角 南 孝 夫 茶 谷 誠 誠 成 川 誠一郎 高 見 九 蔵 広 田 九 稔 江 口 晴一郎 水 田 和 男	⑧ ⑧ ⑧
商品指導 事業	商品テスト (1) プラスチック容器 (中容器) (2) 魔法瓶 (ランチャー、ジャー) (3) 建築金物 (丁番) (4) 軽金属製品 (台所用品) デザイン部 1. 軽機械器具, 雑貨製品のデザイン調製 2. 大阪府デザイン振興対策協議会指導員	竹 内 定 夫 小 林 富久造 北 川 博 城 間 成 信 松 田 興 治	⑧ ⑧

種 別	研 究 項 目	担 当 者	備 考
	3. ④ 計画指導員 4. デザイン講習会 商 品 部 1. 巡回技術指導の実施 2. 商品別研究会の開催 3. 大阪府総合科学技術委員会の試験研究 4. 金属塗装懇談会の開催 5. 社内標準化の指導 6. 技術講習会		④

(ㄨ) 兵庫県立工業試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査 研 究	木質材料加工技術改善に 関する研究 ○ 柾柳加工特性に関する研究 ○ 特殊材の接着塗装に関する研究 特産物のデザイン改善に関する研究 ○ ケミカルシューズのデザイン改善 ○ 小木工品のデザイン改善	佐藤正夫 島田忠雄 藤村庄 田中一郎 松浦信義 山本郁也	④ ④ ④ ④
指 導	巡回技術指導	全 員	神戸，姫路，豊岡，立杭その他 随時実施

(ト) 奈良県工業試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	全般に関する調査 奈良における上代木工品の調査	場 長 楠 正 一	④ ④

種別	項目	担当者	備考
研究	インテリア製品の難燃化研究	中谷恒雄	㊦
	プラスチックの成形技術研究	富畑隆	㊦
	ガラス繊維のプラスチック雑貨への研究	〃	㊦
	プラスチックの保護膜の研究	西城晃	㊦
	メタアクリレートの採色効果研究	山口輝夫	㊦
	UVW系による着色物のカラ-マッチングについて	〃	㊦
	奈良県独特の家具の試作	楠正一	㊦

㊦ 奈良県商工観光館

種別	項目	担当者	備考
調査	くつ下及び引手の流行調査	由井囃託	㊦
	県内工業所有権調査	間瀬囃託	㊦ 工芸関係の特許の実体
	プラスチック容器のデザイン動向調査	今中技師	㊦
研究	漆器の新製品の研究	生島技師	㊦
	クラフト陶器のデザイン研究	北口技師	㊦ 赤膚焼等を含むクラフト陶器のデザイン
	工芸品の輸出転換技術研究	北口技師	㊦
	引手デザインの研究	由井囃託	㊦
	プラスチック容器のデザイン研究	今中技師	㊦ 酒醬油などなどの容器
	民芸品の開発研究	由井囃託	㊦ 陶器, 木彫による新種開発
	木彫及び古楽面の商品化研究	神箸囃託	㊦
	一刀彫の新種研究	〃	㊦
	木工に関する研究	楠囃託	㊦ 木工の新技法
指導	工芸伝習生の養成	生島技師	㊦ 第5期生1年目の養成

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	依頼図案の調整 優計画の実施協力 デザイン資料室の整備 発明の相談指導	由 井 囁 託 北口, 今, 中 生島 今 中 技 師 間 瀬 囁 託	⑤ 選定事前事後の指導 ⑤ ⑤
指 導	特許公報閲覧室の整備 第17回商業デザイン展 第17回新作工芸品展 第20回伝統工芸展(東京) 第14回一刀彫ひな人形展(東京) 第11回伝統工芸展 奈良県工芸協会の指導 発明協会奈良県支部の指導 干支デザイン研究会 木彫技術研究会 窯業技術研究会 漆器技師研究会	沢 田 主 事 今 中 技 師 生 島 技 師 北 口 技 師 生 島 技 師 生 島 技 師 北 口 技 師 間 瀬 囁 託 北 口 技 師 神 箸 囁 託 今 中 技 師 生 島 技 師	⑤ 特許公報の分類 ⑤ 課題を集め応募作品に授賞8.28~9.2本館 ⑤ 11.6~11本館 ⑤ 奈良県工芸協会に事業委託指導する。 ⑤ 昭和46.2月日本橋三越 ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ 6月本館 ⑤ 本館 ⑤ 1月窯元 ⑤ 本館

(U) 和歌山県工業試験場

(木材工芸部)

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	家具, 工芸品のデザイン市場傾向調査 新材料及び加飾技術に関する調査	窪 田, 小 川 窪 田, 北 口	⑤ ⑤
研 究	家具, 木竹工芸品の新製品開発デザイン研究	窪 田, 小 川	⑤

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	転写印刷の応用研究	窪 田, 北 口	新
	彫刻機械の応用研究	窪 田, 北 口	継
指 導	新製品試作指導	窪田, 小川, 北口	
	講習講演会巡回指導	窪 田, 小 川	
	依頼設計	小 川, 北 口	
(木材加工部)			
調 査	集成材生産技術調査	上 野	新
	建具工場実態調査	上 野	継
	製材JAS希望工場実態調査	鈴 木	新
研 究	木製品の高級化の研究		継
	イ 枠組建具の研究	上 野, 前 川	新
	ロ フラッシュパネル狂い防止研究	上 野, 前 川	継
	ハ 針葉樹材製品塗装仕上合理化研究	浦 野	継
	製材製品の高級化の研究		継
	イ 集成材工場の生産技術研究	上 野, 鈴 木	新
	ロ 製品の品質向上研究	鈴 木	新
指 導	巡回技術指導(古座川地区)	上 野, 鈴 木	
	巡回技術指導(御坊地区)	上 野, 鈴 木	
	木工場技術指導	上 野, 浦 野	
	製材工場技術指導	鈴 木	
	木工製材工場の工場レイアウト指導	上 野	

ㄨ) 和歌山県漆器試験場

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	1. 輸出製品に関する調査 2. 木製漆器に関する市場調査	全 員	継

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	3. プラスチック漆器に関する各種調査 4. インテリアに関する調査	土 井 技 師	新
研 究	1. 樹脂の利用開発研究 2. プラスチック漆器向デザインの研究 3. 室内装飾品の試作研究 4. 新塗料及び新材料の利用研究	土 井 技 師 北 浦 技 師 補 中 技 師 土 井 技 師 全 員 射 場 技 師 土 井 技 師 田 辺 技 術 嘱 託	新 新 新 新
指 導	1. デザイン，素地，塗装，加飾技術指導 2. 試作展示会開催	中 技 師 射 場 技 師 土 井 技 師 山 田 技 師 補 田 辺 技 術 嘱 託 全 員	新 新

(5) 中国地方 (7 機関)

(イ) 鳥取県工業試験場 ※ 各機関の住所・電話番号等は第2部
 (産業工芸科) 第3章を参照せられたし。

種別	項目	担当者	備考
調査	大阪地区デザイン傾向調査 東京地区デザイン傾向調査	真鍋 藤本	
研究	家具の色彩研究 木竹製品の試作研究 包装デザインの研究 和紙製品の研究	藤本 真鍋 藤本 真鍋	◎ ◎ ◎ ◎
指導	家具デザイン講習会 鳥取クラフト研究会 鳥取県家具見本市	藤本, 真鍋 藤本 全 員	7月, 10月 6月, 11月, 2月
(木材工業科)			
調査	測定技術調査 木工機械調査 県外木工業の工程管理調査	岡村 山住 西尾	
研究	木竹製品の仕上精度と経年変化 乾燥歪と切削性 接着におけるノークランプ方式 塗膜の性能試験	山住 西尾, 中村 岡村, 花畑 福政, 岸	◎ ◎ ◎ ◎
指導	鳥取県家具見本市 巡回技術指導 簡易巡回技術指導	全 員 全 員	5月(大阪) 6月, 7月(東中 西部) 46年1月

(ロ) 鳥取県工業試験場

種別	項目	担当者	備考
調査	漆器生産状況調査 包装デザイン調査	森口保 森口保子 平本映	① ①
研究	特産工芸のり・デザインに関する研究	森口保子 平本映	②
指導	観光土産品の包装デザイン改善指導 商業デザイン展 陶窯展 家具コンクール 家具見本市		5月 1.1月 6月(松江) 6月(松江) (大阪)

(リ) 島根県林業試験場木材研究所

種別	項目	担当者	備考
試験	熱処理材の強度性能に関する研究	平佐隆文	①
研究	厚材の乾燥に関する研究 製材工場の挽材及び管理技術に関する研究 鋸歯の挽材寿命の延長に関する研究 帯鋸のテンションバックに関する研究 木材の高度利用による造型加工と切削技術の研究 木工品構造部の加工精度と接着性の試験 W.P.Cの木製品への適合性に関する試験 仕上面粗さ試験 試作研究	杉浦幸雄 中村正樹 松井喜吉 日野雅夫 松井喜吉 安井昭 堀江恒志 勝部理市 錦織勇 新田謙造 藤原春水 佐藤和夫	② ① ② ② ① ① ① ① ① ① ①
指導	技術講習及び巡回指導	杉浦幸雄	①.1.講習会

種別	項目	担当者	備考
	研修生養成指導（鋸目立） 試作展示発表会	松井喜吉 中村正樹 松井喜吉 藤原春水	2.巡回指導 ◎ ◎

○ 島根県工業試験場附属木工指導所

指導	木工技術研究会 技術講習会 巡回技術指導 県家具コンクール その他文書指導	全 員 全 員 全 員 全 員	◎ ◎ ◎ ◎
----	---	--------------------------	------------------

(二) 岡山県工業試験場

種別	項目	担当者	備考
研究	輸出先染織物の新規デザインに関する研究 花えんデザインに関する研究 堅紙用織物図案に関する研究	塩見技師 香川技師 " "	◎ ◎ ◎
指導	先染織物のデザイン指導 輸出雑貨のデザイン指導 インテリアデザイン講習会 花えん図案展示会	デザイン研究室 " " "	◎ ◎ 時期 昭和45年10月 昭和46年3月 場所 倉敷市,津山市 ◎ 時期 昭和45年7月 場所 い製品指導所 図案数 約200点

㈥ 広島県立木工指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
研 究	木質複合材の生産技術に関する研究	橘 高 研 究 員 井 口 " " 中 西 " "	⑧ 国庫技術指導補助
	木製家具の塗装技術に関する研究	大 迫 科 長 小 林 研 究 員 牧 野 " "	⑧ "
	家具の製品機能の研究	西 村 科 長 徳 毛 研 究 員 藤 井 技 師 補	⑧ 単独県費
	木戸図案及び試作研究	西 村 科 長 藤 井 技 師 補	⑧ "
	木製品の生産技術に関する研究	橘 高 研 究 員 井 口 " " 中 西 " "	⑧ "
	木製品の高級化技術に関する研究	橘 橋 研 究 員 井 口 " " 中 西 " "	⑧ "
	木製品の塗装標準化と高級化技術に関する研究	大 迫 科 長 小 林 研 究 員 牧 野 " "	⑧ "
	公害防止技術に関する研究	橘 高 研 究 員 井 口 " "	⑧ "
指 導	現地指導		
	府中地区実施指導（月17日）	全 員	⑧
	福山地区 "	"	⑧
	宮島地区 "	"	⑧
	家具塗装技術講習会開催		
	家具デザイン講習会		
	クラフトデザイン講習会		
	加工技術講習会		
	塗装技術講習会		
	木製はきもの（転換）講習会		
振興行事			
はきもの新作コンクール			

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	家具コンクール 家具デザインコンクール 塗装技術コンクール		
研 修		全 員	

(2) 広島県工芸指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	デザインの傾向及び事情に関する調査 合成木材家具デザインに関する調査 工程管理及び品質管理に関する調査 治具に関する調査 騒音に関する調査 合成樹脂成型に関する調査 家具表面材及び塗装傾向に関する調査 金属表面処理に関する調査	岡本 西原 宇川 山田 木下 野村 斉藤 山崎	継 新 新 継 継 新 継 新
研 究	象徴的家具の心理効果に関する研究 ビルトイン家具に関する研究 材料試験及び品質試験に関する研究 パネルの反狂に関する研究 木工機械の騒音に関する研究 塗料及び塗装の適正化に関する研究 家具塗装標準に関する研究	岡本 西原 宇川、山田、木下 山田 木下 野村、斉藤、山崎 斉藤	新 新 継 継 継 継 継
指 導	家具デザインの指導 木材加工技術の指導 塗装技術の指導 木工デザイン講習会	岡本、西原 宇川、山田、木下 野村、斉藤、山崎 岡本、西原	継 継 継 新 時期45.6 場所 広工指

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	生産技術講習会	字川, 山田, 木下, 野村, 斉藤, 山崎	⑨ 時期 45.7 場所 広工指

(ト) 山口県商工指導センター

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	集団店舗デザインの調査研究	佐分利 良 夫	⑨
研 究	容器包装ラベルのデザイン研究	佐分利 良 夫 伊 佐 司 郎	⑩
	団地住宅用家具のデザイン研究	岡 本 誠太郎	⑩
	木工業における廃材活用の研究	村 田 喜 輔	⑨
	フラッシュ構造の反狂防止芯材の研究	村 田 喜 輔	⑩
	県内産陶器の製品計画	川 浪 浩	⑩
指 導	焼成雰囲気の色	川 浪 浩	⑩
	店舗構成・陳列・広告のデザイン指導	佐分利 良 夫	⑩
	既製家具と建具のデザイン指導	岡 本 誠太郎	⑩

(6) 四国地方 (6 機関)

(イ) 香川県技術開発センター・木工指導所 ※ 各機関の住所・電話番号等は第2部第3章を参照せられたし。

種別	項目	担当者	備考
研究	小木製品の量産加飾技術	郡小 谷 文 雄 有 沢 恒 康 寒 岡 信 一 川 広 詞	㊦
指導	巡回技術指導 (木材乾燥機械加工)	郡小 谷 文 雄 有 沢 岡 恒 康 有 岡 信 一	㊦

(ロ) 徳島県工業試験所

種別	項目	担当者	備考
研究	1. 木製品, 木製家具の生産性向上技術に関する研究 2. 木竹製品の試作研究 3. 新材料の開発研究	科 全 員 " "	㊦ ㊦ ㊦
指導	1. 巡回技術指導 (1) 洋 家具 (2) 建 具 (3) 経 木 2. 第13回木竹技術コンクール 3. 木工生産技術研究会	岩 田 技 師 阪 井 技 師 有 住 技 師 科 全 員 "	7月, 徳島市 8月, " 9月, 県西地区 6月, 徳島市 毎月1回
研究	1. 家具デザインの研究 2. 織物デザインの研究	科 全 員 "	㊦ ㊦
指導	1. 特産品デザインの実施指導 2. デザイン指導講習会	科 全 員 講 師 招 聘	10月

㊦ 徳島市立工芸指導所

種別	項目	担当者	備考
調査	市場別家具デザイン傾向の変化について	デザイン室	㊦
研究	木工用刃物の切削持久時間について	機械加工室	㊦
指導	加工技術部門別競技会 若い技能を伸ばす新作コンペ	企画室 "	㊦ 2月～3月 当所内 ㊦ 4月～5月 当所内

㊧ 愛媛県総合化学技術指導所工芸科

1. 業務計画

種別	項目	担当者	備考
調査	省力化機械の現状調査	宮内 孝	㊦
研究	椅子デザインの研究 書棚デザインの研究 合成木材の利用研究	乃万 勇 三 " 宮内 孝 三 乃万 勇 三	㊦ ㊦
指導	巡回指導 松山, 今治地区	黒坂 重 好 宮内 万 孝 乃万 勇 三	
その他	第4回愛媛県優良家具展		8月1日～3日 松山市

㊨ 高知県工業試験場

イ 業務計画

◎ 木竹科

種別	項目	担当者	備考
調査	1. 外材利用に関する調査 2. 古代塗技術の実地調査	山崎 憲 輔 森岡 幸 男	㊦ ㊦

種別	項目	担当者	備考
研究	1. 材面の粗さが接着に及ぼす影響	山崎 憲 輔	◎
	2. フラッシュの反狂防止	岡林 実	◎
	3. 塗料の密着性について	森岡 幸 男	◎
	4. ヤナセ杉利用の家具	全 員	◎
	5. 床の間セット	全 員	◎
指導	1. 家具工業研究会	全 員	◎
	2. 巡回技術指導	全 員	◎
	3. 簡易巡回技術指導	全 員	◎
その他	全国試験所作品展出品	全 員	◎

◎ デザイン科

種別	項目	担当者	備考
調査	本県における民芸品の開発調査	杉田 重 信	◎
研究	1. 古代塗の伝統的パターンの開発研究	杉田 重 信	◎
	2. 木素材による民芸みやげ品の試作	" (木竹科共同)	◎
	3. 民芸陶器の試作	" (窯業科共同)	◎
指導	1. 本県の特産素材を生かした手工芸品	杉田 重 信	◎
	2. 新製みやげ品の加工技術	"	◎
その他	デザイン情報業務	杉田 重 信	◎

ㄨ 高知県木材工業指導所

種別	項目	担当者	備考
調査	1. 家具に関する市場調査	朝 倉	◎
	2. 観光土産品、生活工芸品の調査	山 脇	◎

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	3. 業界の塗装設備に関する調査	今 村	新
研 究	1. 各種外材の性能の比較試験ならびに応用試作研究	山 脇, 朝 倉 片 岡	新
	2. ヤナセ杉を利用した生活工芸品, 観光土産品のデザイン試作研究	山 脇	新
	3. 解体家具の試作研究	朝 倉	継
	4. ヤナセ杉の家具, 建具, 建築材への利用研究	朝 倉, 片 岡	新
	5. エア-レススプレー-と圧送式スプレー-による能率, 経済性ならびに着色クリヤー吹付技術の探求	今 村	新
	6. 外材ならびに針葉樹材の塗装に関する研究	今 村	継
指 導	1. 実地巡回指導 2. 依頼図面の調整 3. 試作品の展示会 4. 技術相談 5. 技能者の養成		

(7) 九州地方(11機関)

(イ) 福岡県福島工業試験場 ※ 各機関の住所・電話番号等は第2部第3章を参照せられたし。

種別	項目	担当者	備考
調査	石材に関する調査	小川, 石橋, 亀井	◎
	木竹工芸品に関する調査	"	
	工芸紙に関する調査	秋山, 奥田	◎
研究	特産石材のインテリア素材としての有効利用化の研究	小川, 石橋, 亀井	◎
	手すき工芸紙の製造技術に関する研究	秋山, 奥田	◎
指導	工芸デザイン講習会 手すき和紙製造技術講習会 竹工芸研究会指導 仏壇金具加飾研究会指導 石材利用研究会指導 筑後手すき和紙研究会指導 手すき和紙初歩伝習指導 物産展見本市等出品指導 一般巡回技術指導 その他場内技術相談	関係職員全員	

(ロ) 福岡県立農業試験場筑後分場

種別	項目	担当者	備考
研究	1. 花菱のデザインに関する研究	田中忠興	
	1) ジャカード式による絞織のデザイン及び試作		◎
	2) ドビー式による絞織のデザイン及び試作		◎
	3) 掛川織のデザイン及び試作		◎
	4) 短いイ草の利用法の研究		◎
	5) イ草の性状に関する試験		◎

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	2. 染色に関する研究 1) 染色むらの生じる染色配合に於ける染料の相互作用に関する試験 2) 染着率と染料配合に関する試験 3) 各染料のイ草に対する脱着に関する試験 4) イ草の組成分析 5) イ草のブルーイングに関する試験	中 村 駿	◎ ◎ ◎ ◎ ◎

㊦ 福岡県大川木工指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	1. 木工デザインの傾向調査 2. 木工機械の精度検査と加工材の寸法精度調査 3. 新塗料および塗装機器に関する調査	所長, おさ島 大ぐま, 平島 城戸 つる, にわ	◎ ◎ ◎
研 究	1. 樹脂注入材の応用化研究 2. 既製家具デザインの改善研究 3. 木材加工技術の合理化研究 4. 塗装技術の研究	大ぐま, おさ島 つる, 宮原 平島, にわ おさ島, 宮原 東 大ぐま, 平島 城戸 つる, にわ	◎ ◎ ◎ ◎
指 導	1. 木工生産技術講習会 2. 巡回技術指導 3. 技術研究グループ 4. 技術相談 5. 展示会出品試作指導	講師 招聘 関係 職員 関係 職員 " " "	◎ ◎ ◎ ◎ ◎

(二) 佐賀県工業試験場

(工芸関係のみ)

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	分科会共同研究調査	特別研究員 中尾 満 技術史員 村上 陽一	⑧
	木製建具の生産調査	室 長 島 文 一 技術史員 坂井 竹次	⑧
	工芸品・民芸品生産実態調査	室 長 島 文 一 特別研究員 中尾 満	⑧
研 究	木竹片の樹脂加工による小工芸品の試作研究 (FRP用不飽和ポリエステル樹脂の応用)	室 長 島 文 一 技術史員 飯田 一雄	⑧
	くりもの雑貨工芸品のデザイン技術の研究	室 長 島 文 一 特別研究員 中尾 満	⑧
	塗装工程の標準化研究	技術史員 村上 陽一	⑧
	木工機械の騒音に関する研究	技術史員 坂井 竹次	⑧
指 導	巡回技術指導 (補助事業)	全 員	⑧時期 6月~12月 場所 東部地区 西部地区
	簡易巡回技術指導予定 (補助事業)	"	⑧時期 10月以降 場所 県内一円
	巡回総合指導 (補助事業)	市島室長, 中尾 村上技史	⑧時期 5月~3月 場所 県内一円
	特定技術指導		⑧時期 4月~3月 場所 県内一円
	竹刀加工技術指導	市島室長, 飯田技史	⑧西川登竹工組 合
	各種講習会研究会の開催	全 員	⑧経営講習会 木工技術講習 会

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	各種展示会の開催	全 員	塗装技術講習会 家具研究会 建具研究会 竹工研究会 佐賀市木竹産業展 武雄市木工展

(内) 大分県日田産業工芸試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	関係業種実態調査	研 究 課	◎
	商品傾向調査	"	◎
研 究	1. 合成樹脂を利用した家具のデザインおよび加工技術の開発研究	研 究 課 (口, 山下, 石井)	◎
	2. 木材表面の非常滑仕上げ効果に関する研究	研 究 課 (甲能, 山口, 蒲池, 中川)	◎
	3. シリーズ企画によるテーブルウェアの商品開発研究	研 究 課 (染葉, 時松, 河野)	◎
	4. 木製家具部品塗装における前工程の改善研究	研 究 課 (山口, 蒲池, 小関)	◎
	5. 日田地方における「はれ」の食事様式に関する調査研究	研 究 課 (染葉, 山下)	◎
	6. 日田地方における伝統的生活用具の生産実態調査研究	" "	◎
指 導	1. 家具工場デザイン, 生産技術総合指導	研 究 課	◎
	2. クラフトデザイン指導	"	◎
	3. 木履のデザイン改善指導	"	◎
	4. 家具および工芸生産における研削, 研磨技術指導	"	◎
	5. 家具工芸木履塗装技術の指導	"	◎
	6. ◎ 商品デザイン改善指導	研究課及び部外講師	◎
	7. 家具デザイン巡回指導及び講習会	"	◎

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	8. 塗装技術巡回指導及び講習会	研究課及び部外講師	⑧
	展示会見本市に対する商品デザイン指導		
	(日田クラフト展)		久留米市 } ⑧ 7月
	"		東京都 } ⑧ 10月
	(日田家具見本市)		日田市 } ⑧ 8月, 3月
	"		大阪市 } ⑧ 9月
	"		東京都 } ⑧ 3月
	(日田履物見本市)		日田市 } ⑧ 5月
	"		大阪市 } ⑧ 2月
	(日本ニュークラフト)		東京都 } ⑧ 9月
	(九州クラフトデザイン展)		福岡市 } ⑧ 4月
	(大分県竹のクラフト展)		大分市 } ⑧ 3月
	(全国漆器展)		東京都 } ⑧ 5月
	(全日本優良家具店)		東京都 } ⑧ 3月
	研究会に対する指導		
	(日田クラフト懇談会)	時松技師, 染葉技師	⑧ 当所 毎月
	(日田家具研究会)	甲能主任研究員 樋口技師	⑧ " "
	(日田履物研究会)	山口技師, 蒲池主任	⑧ " "
	(日田若樹会)	" "	⑧ " "
	(日田漆芸協会)	秋貞所長	⑧ " "

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	技能者の養成指導		
	(木工技術者の養成)	甲能主任研究員	◎
	(塗装技術者の養成)	山口技師	◎

(ハ) 大分県別府産業工芸試験所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	木材の改質研究 樹脂注入調査	主任研究員 末松重正 主任技師 川口俊雄 主任技師 手島国雄 技師 板垣博 技師 早野久雄 技師 片山信夫	◎
研 究	木材の改質研究 炭化予備試験	主任研究員 末松重正 主任技師 川口俊雄 技師 板垣博 技師 片山信夫 技師 安東準之助	◎
	木竹製品のデザイン開発研究 卓 上 用 品	主任研究員 本郷竹市 技師 都築春生 技師 板垣博	◎
	照 明 具	技師 二宮繁夫 技師 片山信夫	

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	新工芸材料の調査		◎
研 究	新材料応用家具デザイン研究 特産品のデザイン開発研究 観光工芸品の開発研究 含浸樹脂による木材の強化研究 強化木および合成木材の切削接着表面処理研究 包装意匠・パッケージのデザイン加工技術研究	工 芸 部 全 員 " " " " "	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
指 導	デザイン生産技術研修 専門技術者研修 木工家具巡回技術指導 簡易木工家具巡回技術指導	工 芸 部 全 員 " " "	◎ ◎ ◎ ◎

(㊦) 宮崎市工業指導所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
調 査	○ 杞柳製品の意匠および市場調査 ○ 家具，建具，観光みやげ品の意匠および市場調査	笠 原 所 長 富 永 主 事 岩 部 主 事	◎ ◎
研 究	○ 杞柳製品，観光みやげ品のデザインおよび試作研究 ○ 宮崎特産材活用による団地向き家具類のデザインおよび試作研究	全 員 所 長	◎ ◎
指 導	○ 杞柳製品編組実技指導研修会 ○ 杞柳製品編組技術巡回指導 ○ 家具，建具生産技術研修会 ○ 鉄工業生産技術研修会		◎ ◎ ◎ ◎

(U) 宮崎県工業試験場都城分場

種別	項目	担当者	備考
調査	県産木材の利用状況調査	上原 技師	◎
	家具木製品の市場動向調査	福原 技師 久保田 技師 今村 技師	◎
研究	県産材の特性利用に関する研究	上原 技師	◎
	木材乾燥に関する研究	上原 技師 鍋倉 技師	◎
	集成加工技術に関する研究	室田 技師 巢立 技師	◎
	加工精度と作業稼働率に関する研究	阪本 技師 鍋倉 技師	◎
	木製品塗装技術研究	大川畑 技師	◎
	家具工芸品のデザイン研究	久保田 技師 福原 技師 今村 技師	◎
指導	デザイン加工技術講習会	講師招聘及び職員	◎
	木工家具巡回技術指導	"	◎
	木工簡易巡回技術指導	"	◎

(X) 熊本県工業試験場

種別	項目	担当者	備考
研究	木材可塑成型による製品化利用研究	酒井 良司 岩下 達蔵	◎
	木製家具標準色の研究	浜村 繁光	◎
	窯業原料開発のための調査ならびに製品化研究	原田 爾雄 木田 文雄	◎
	旋削クラフト製品の試作研究	岩下 達造	◎
	クラフト、家具デザイン研究	木田 文雄	◎
	輸出竹製品の試作研究	谷川 好蔵	◎
指導	可塑成型による椅子製造技術指導	酒井 良司 岩下 達蔵	◎

種 別	項 目	担 当 者	備 考
	塗装ならびに着色滲透剤使用技術指導	浜 村 繁 光	●
	窯業原料ならびに設備近代化指導	原 田 爾 雄 木 田 文 雄	●
	旋削クラフト技術指導	岩 下 達 蔵	●
	デザイン技術指導	木 田 文 雄	●
	生産技術指導	酒 井 良 司 岩 下 達 蔵 浜 村 繁 光	●
	輸出クラフト製品（竹製品）製造技術指導	谷 川 好 蔵	●
	木工巡回技術指導	木 田 文 雄 岩 下 達 蔵 酒 井 良 司 浜 村 繁 光	●

(4) 鹿児島市工芸研究所

種 別	項 目	担 当 者	備 考
研 究	○ 建築内装竹材に関する研究	浜 田 技 師	●
	○ 竹材の材質改善に関する研究	浜 田 技 師	●
	○ 産業工芸品のデザインに関する研究	亀 山 技 師	●
	○ 木、竹工芸品の試作研究	末 広 技 師	●
指 導	○ 建築内装竹材に関する指導	竹 村 技 師	●
	○ 産業工芸品のデザイン指導	宮 城 技 師	●
	○ 木、竹加工技術に関する指導	下 唐 湊 技 師	●
	○ グラフィックデザインに関する指導	亀 山 技 師	●
	○ 大島紬図案工の伝習生の養成	福 山 囃 託	●
	○ (展示会)		
	○ 第16回工研展		
			日時 昭和46年3月 場所 鹿児島市(山形屋デパート)

第1部 国内各産業デザイン団体機関名簿

1. 産業界委員会 (6機関)

委員会名称(産業界)	郵便番号	所在地	電話番号
東京産業界委員会	100	千代田区丸の内1丁目5-1	707-1511
経済産業省産業政策第一課			
中小企業庁産業政策第二課			
新設行各第一産業課			
工業技術院材料科学研究所	114	大田区千代田4-21-2	757-0551
産業高度化材料研究所	221	横浜市神奈川区武蔵	345-311-3901
工業技術院技術試験所	462	名古屋市北区千代田4丁目	052-911-2111

第II部 国内産業デザイン団体名簿

2. 地方行政機関 (55機関)

(1) 各道府県委員会 (6機関)

委員会名称	郵便番号	所在地	電話番号
札幌道庁委員会	060	札幌市北三条西4丁目	012-25-1151
仙台	980	仙台市青葉区1丁目5 仙台合同庁舎	022-21-5111
東京	100	千代田区大手町1-7 大手町合同庁舎第2号館	216-5641
名古屋	460	名古屋市中区三の丸2丁目3-2	052-251-2501
大阪	540	大阪市北区大崎西之町 第1合同庁舎	06-541-2451-5
広島	730	広島市基町2-42	082-29-5251-6
福岡	760	福岡市基町1丁目12-6	092-36-2141-7
福岡	812	福岡市博多区東2丁目11-7 福岡合同庁舎	092-45-4501

第Ⅱ部 国内各産業デザイン団体機関名簿

1. 通商産業省（8機関）

通省産業省主管部課	郵便番号	所在地	電話番号
貿易振興局検査デザイン課	100	千代田区霞ヶ関1丁目3-1	501-1511
繊維雑貨局雑貨第一課		〃	〃
中小企業庁指導部技術課		〃	〃
〃 〃 商業第一課		〃	〃
特許庁審査第一部意匠課		〃	〃
工業技術院製品科学研究所	114	大田区下丸子町4-21-2	759-0151
〃 繊維高分子材料研究所	221	横浜市神奈川区沢渡4	045-311-5901
〃 名古屋工業技術試験所	462	名古屋市北区平手町1丁目	052-911-2111

2. 地方行政機関（55機関）

(1) 各通商産業局（8局）

機関名	郵便番号	所在地	電話番号
札幌通商産業局	060	札幌市北三条西4丁目	0122-23-1151
仙台 〃	980	仙台市外記丁105 仙台合同庁舎	0222-21-6111
東京 〃	100	千代田区大手町1-7 大手町合同庁舎第2号館	216-5641
名古屋 〃	460	名古屋市中区三の丸2丁目5-2	052-951-2551
大阪 〃	540	大阪市東区大手前之町 第1合同庁舎	06-941-9451-3
広島 〃	730	広島市基町9-42	0822-28-5251-6
四国 〃	760	高松市番町1丁目10-6	0878-31-3141-7
福岡 〃	812	福岡市博多駅東2丁目11-1 福岡合同庁舎	092-43-1301

(2) 都道府県庁主管部課(47課)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
北海道商工部商工課	060-91	札幌市北三条西6丁目	0122-23-4111
青森県水産商工部商工課	030	青森市大字大野字長島1丁目1	0177-22-1111
岩手県経済部商工課	020	盛岡市内丸10-1	0196-23-3111
宮城県商工労働部商工振興課	980	仙台市勾当台通り27	0222-23-6111
秋田県産業労働部商工課	010	秋田市山王4丁目1-1	0188-23-1111
山形県商工労働部経営指導課	990	山形市旅籠町3丁目4-51	0236-31-1111
福島県商工労働部商工課	960	福島市杉妻町2-16	0245-22-1111
茨城県商工労働部工業課	310	水戸市三の丸1丁目5-38	0292-21-8111
栃木県商工労働部中小企業課	320	宇都宮市塙田町504	0286-21-1111
群馬県商工労働部繊維工鉦課	371	前橋市大手町1-1	0272-21-1511
埼玉県商工部工業課	336	浦和市高砂3丁目15-1	0488-22-8811
千葉県商工労働部振興課	280	千葉市市場町2	0472-22-6111
東京都経済局商工部工業課	100	千代田区丸の内3-1	03-212-5111
神奈川県商工部工業課	231	横浜市中区日本大通り1	045-201-1111
山梨県商工労働部経営指導課	400	甲府市丸の内1丁目6-1	0552-37-1111
長野県商工部工業課	380	長野市大字南長野字巾下692-2	0262-32-0111
新潟県商工労働部中小工業課	951	新潟市学校町1	0252-23-5511
静岡県商工部工業課	420	静岡市追手町9-6	0542-54-1111
富山県商工労働部工業課	930	富山市新総曲輪1-7	0764-31-4111
石川県経済部商工課	921	金沢市広坂2丁目1-1	0762-61-1111
岐阜県商工労働部商工課	500	岐阜市藪田	0582-72-1111
愛知県商工部工業課	460	名古屋市中区三の丸3丁目1-2	052-961-2111
三重県商工労働部商工課	514	津市広明町13	05928-8-1111
滋賀県商工労働部商工課	520	大津市京町4丁目1-1	07754-2-1121
福井県商工労働工業開発課	910	福井市大手3丁目17-1	0776-21-1111
京都府商工部美術工芸課	602	京都市上京区下立売通新町 西入藪ノ内町	075-451-8111
大阪府商工部通商観光課	540	大阪市東区大手前之町	06-941-0351
兵庫県商工部工業課	650	神戸市生田区下山手通5-1	078-34-7711

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
奈良県商工労働部商工課	6 3 0	奈良市登大路町	0742-22-1101
和歌山県経済部工業課	6 4 0	和歌山市小松原通り1丁目1	0734-23-6111
鳥取県商工労働部商工指導課	6 8 0	鳥取市東町1丁目220	0857-22-7111
島根県水産商工部商工振興課	6 9 0	松江市殿町1	0852-21-0111
岡山県商工部工業開発課	7 0 0	岡山市内山下81-1	0862-24-2111
広島県商工部工業技術課	7 3 0	広島市基町10-52	0822-28-2111
山口県商工水産部中小企業課	7 5 3	山口市滝町1-1	08392-2-3111
香川県経済労働部商工課	7 6 0	高松市番町4丁目1-10	0878-31-1111
徳島県商工労働部工業課	7 7 0	徳島市万代町1-1	0886-22-1111
愛媛県商工労働部商工課	7 9 0	松山市一番町4丁目4-2	0899-41-2111
高知県水産商工部商工課	7 8 0	高知市丸の内5	0888-73-1111
高知市経済部	7 8 0	高知市帯屋町105	0888-72-8111
福岡県商工水産部商工第二課	8 1 0	福岡市天神1丁目1-1	092-78-1111
佐賀県工鉱通商課 通商係	8 4 0	佐賀市城内1丁目1-59	09522-5-3168
長崎県商工部	8 5 0	長崎市江戸町2-13	0958-22-1111
大分県商工労働部工鉱課	8 7 0	大分市大手町3丁目1-1	09752-2-1111
宮崎県経済部工鉱課	8 8 0	宮崎市橋通東2丁目10-1	0985-23-4111
熊本県商工水産部(商政貿易課)	8 6 2	熊本市出水町今915	0963-66-1111
鹿児島県水産商工部工鉱業課	8 9 2	鹿児島市山下町14-50	0992-23-2111

3. 国立・地方公設試験研究機関(136機関)

(1) 国立試験研究機関(3)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
工業技術院製品科学研究所	1 1 4	東京都太田区下丸子町4-21-2	759-0151
“ 繊維高分子材料研究所	2 2 1	横浜市神奈川区沢渡4	045-311-5901
“ 名古屋工業技術試験所	4 6 2	名古屋市北区平手町1丁目	052-911-2111

(2) 地方公設試験研究指導機関 (計133機関)

(イ) 北海道・東北地方 (17機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
北海道立工業試験場	063	札幌市琴似八軒一条西3丁目97	0122-61-3281
北海道立林産試験場	070	旭川市緑町12丁目	0166-51-1171
旭川市木工芸指導所	070	旭川市豊岡三条3丁目	0166-24-1231
旭川市立窯業指導所	070	旭川市豊岡三条3丁目	0166-24-7612
青森県工業試験場	036	弘前市袋町75	01722-2-1466
青森県木工指導所	030	青森市大字造道字浪打889	0177-34-7326
岩手県工業試験場	020	岩手県紫波郡都南村津志田26	0196-36-3640
秋田県工業試験場	010	秋田市茨島1丁目4-82	0188-62-3414
〃 能代指導所 能代市木工指導所	016	能代市富町14-23	01855-2-5249
〃 川連指導所	012-01	秋田県雄勝郡稲川町大館	018302- 4
秋田市工芸相談所	010	秋田市山王1丁目1-1	0188-23-5211
山形県立山形工業試験場	990	山形市銅町1丁目2-30	0236-22-2268
山形県立鶴岡繊維工業試験場	997	鶴岡市家中新町14-8	鶴岡(2)0501
山形県立庄内木工指導所	998	酒田市両羽町1-21	02342-2-0596
山形県立米沢繊維工業試験場	992	米沢市丸の内6-2-15	米沢(3)0085
福島県工芸試験場	965	会津若松市門田町大字飯寿字 村西	02422-2-0834
福島県繊維工業試験場	960-14	福島県伊達郡川俣寺久保77	川俣(5)3028

(ロ) 関東・甲信越・静・地方 (31機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
茨城工芸指導所	310	水戸市三の丸3丁目14-3	0292-21-2763
栃木県中央工業指導所	322	鹿沼市白桑田町516-1	0289-62-5211
群馬県工業試験場	371	前橋市鳥羽町190	0272-51-4261
埼玉県工芸試験場	338	浦和市下木崎字皇山222	0488-33-1511
埼玉県繊維工業試験場	358	入間市仏子766	0429-32-0328

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
埼玉県秩父繊維工業試験場	368	秩父市熊木町2801	04942-2-0134
埼玉県行田繊維工業試験場	361	行田市向町7-29	行田 -56-2391
千葉県工業試験場	280	千葉市加曾利町889	0472-31-4325
東京都立工業奨励館	105	東京都港区芝海岸1丁目7-7	03-431-4171
東京都繊維工業試験場	192	八王子市明神町三丁目19-1号	0426-42-7175
神奈川県工業指導所	250	小田原市本町1丁目7-53	0465-22-4168
神奈川県工業試験所	236	横浜市金沢区富岡町3173	045-751-1301
神奈川県繊維工業指導所	243-03	神奈川県愛甲郡愛川町半原4408	愛川 -81-1132
横浜市中小企業指導センター 支所	235	横浜市磯子区磯子2丁目29-36	045-761-3821
山梨県木工指導所	400	甲府市里吉836	0552-35-5096
山梨県林業試験場	400	甲府市飯田5丁目6-23	0552-24-4378
山梨県立研磨工業指導所	400	甲府市里吉町838-2	0552-33-0215
繊維工業試験場	403	富士吉田市下吉田2095	0555-2-2100
メリヤス工業指導所	400	甲府市德行町1972	0552-22-7349
長野県工業試験場	380	長野市若里188	0262-26-2812
長野県繊維工業試験場	399-65	松本市大字芳川野溝1234-5	松本-2-0790
長野県木工指導員飯田 駐在事務所	395	長野県下伊那郡かなえ町下茶屋	02652-2-0139
“ “ 岡谷 “	394	岡谷神明町	02662-2-3847
“ “ 松本 “	399-65	松本市芳川野溝 長野県織工試内	02634-2-0790
新潟県工業技術センター	950	新潟市鏡504-1	0252-44-9168
“ 加茂試験場	959-13	加茂市上条1372	02565-2-0133
“ 高田試験場	943	高田市大町5丁目157	02552-4-5103
“ 佐渡指導所	952-07	新潟県佐渡郡赤泊村徳和2332	025987- 44
静岡県工業試験場	420	静岡市駒形通り5丁目9-3	0542-53-1151
静岡県浜松繊維工業試験場	430	浜松市北寺町617	浜松 -53-9148
静岡市工芸指導所	420	静岡市安倍川町38	0542-54-1546

(一) 東海・北陸地方(23機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
富山県工業試験場	933	高岡市中川1丁目1-10	0766-21-2121
富山県繊維工業試験場	939-18	東砺波郡城端町563	城端2141~2
高岡市デザイン指導所	933	高岡市昭和町1-2-9	高岡22-2317
富山市商工奨励館	930	富山市大手町2-10	富山25-3488
石川県工業試験場	921	金沢市米泉町4-133	0762-41-5101
輪島市漆器研究所	928	輪島市河井町24-55	07682-2-2211
山中町漆器研究所	922-01	石川県江沼郡山中町塚谷町102	07617-8-0425
岐阜県工業試験場	501-61	羽島郡笠松町	05838-7-4146
岐阜県陶磁器試験所	507	多治見市陶元町	0572-22-5381
岐阜県製紙試験場	501-37	美濃市前野	05753-3-1241
岐阜県金属試験場	501-32	関市小瀬	05752-2-0148
多治見市陶磁器意匠研究所	507	多治見市美坂町	0572-22-4731
土岐市立陶磁器試験場	509-54	土岐市駄知町有吉	509-54-9-8312
瑞浪市窯業技術指導室	509-61	瑞浪市寺河戸町公園	0572-8-2111
岐阜県工芸試験場	506	高山市八幡町100	0577-32-0379
愛知県工業指導所	464	名古屋市千種区花田町3-58	052-731-2516
愛知県産業貿易館	460	名古屋市中区丸の内3丁目1-6	052-231-6351
愛知県窯業技術センター	479	常滑市三ツ池48-88	常滑5-5151
愛知県尾張繊維技術センター	491	愛知県一宮市大和町馬引字宮津 85	一宮45-7871
愛知県三河繊維試験場	443	愛知県蒲郡市三谷町須田10	蒲郡8-7146
三重県工業試験場	514	津市栄町4丁目277	05928-8-2709
三重県窯業試験場	510	四日市市東阿倉川224	四日市31-2381
伊勢市工芸指導所	516	伊勢市本町18-29	05963-8-4397

(二) 近畿地方 (21機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
福井県工業試験場	910	福井市若栄町920	0776-24-5123
福井県窯業試験場	916-02	福井県丹生郡宮崎村小曾原	宮崎 5
福井県繊維工業試験場	910	福井市文京3-10-1	福井 24-5120
武生市工業試験場	915	武生市高瀬町33-13	0778-22-1241
滋賀県立信楽窯業試験場	529-18	滋賀県甲賀郡信楽町長野	信楽 074882-36
滋賀県繊維工業指導所	526	長浜市三ツ矢元町27-39	長浜 2-1492
京都府立中小企業総合指導所	600	京都市下京区西七条八幡町31	075-312-2331
京都府工芸美術総合研究委員会	602	京都市上京区下立宅新町 京都府商工部美術工芸課内	075-441-8428
京都府織物試験場	627	京都府中郡峰山町字内波	07726-2-0074
京都市工業試験場	601	京都市南区西九条南田町1-2	075-681-2736
京都市染織試験場	602	京都市上京区烏丸上立売上る	075-441-3165
大阪府立工業奨励館	550	大阪市西区江ノ子島上之町1	06-443-1121
" 東大阪分館	577	東大阪市高井田中1丁目38	06-783-3051
大阪府立繊維工業指導所	595	泉大津市旭町22-28	泉大津3-2544
兵庫県立工業試験場	654	神戸市須磨区行平町3丁目	078-71-4481
兵庫県繊維工業指導所	677	兵庫県西脇市西脇712-29	西脇 2-2041
兵庫県但馬地区労使センター	668	豊岡市中央3-11	07962-4446
奈良県工業試験場	630	奈良市大安寺町1188	0742-24-0485
奈良県商工観光館	630	奈良市橋本町21	0742-22-4661
和歌山県工業試験場	649-62	和歌山市小倉60	07366-3271
和歌山県漆器試験場	642	海南市船尾226-2	07348-2-0844

(三) 中国地方 (8機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
鳥取県工業試験場	680	鳥取市行徳い705	0857-22-8321
島根県工業試験場	690	松江市古志原町501	0852-21-5047
島根県林業試験場木材 研究所	693	出雲市今町1004	0853-21-0527

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
岡山県工業試験場	700	岡山市伊福町4丁目3-18	0862-52-5136
広島県立木工指導所	729-01	福山市柳津町2252-18	08485-2-4161
広島県立福山繊維工業試験場	720	福山市野上町3-9-1	08485-23-0914
広島市工芸指導所	734	広島市東本浦町1-2	0822-81-7146
山口県商工指導センター	753	山口市大字朝田字湯垣585-1	08392-2-6810

(c) 四国地方 (10機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
香川県商工奨励館	760	高松市栗林町1丁目20-16	0878-31-3332
香川県木工指導所	760	高松市花の宮1-4-3	0878-31-4616
香川県技術開発センター 木工指導所	760	高松市郷東町新開587-1	0878-81-3171
徳島県工業試験場	770	徳島市北前川町2丁目6	0886-22-3322
徳島市立工芸指導所	770	徳島市福島1丁目8-22	0886-22-9625
愛媛県総合化学技術指導所	790	松山市宮西町75	0899-43-0237
愛媛県窯業試験場	791-21	愛媛県伊予郡砥部町五本松	砥部 76
愛媛県染織試験場	799-15	今治市上徳字猪畑甲30-1	今治 8-0021
高知県工業試験場	780	高知市棧橋通り2丁目11-15	0888-72-0568
高知市木材工業指導所	780	高知市北本町4丁目2-49	0888-82-1528

(d) 九州地方 (23機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
福岡県福岡工業試験場	812	福岡市西堅粕松原644-8-1	福岡 65-0472
福岡県福島工業試験場	834	八女市稲富499	094322-2322 八女 2361
福岡県大川木工指導所	831	大川市大字向島1855-2	09449-6-3259
福岡県立農業試験場 筑後分場	830-04	福岡県三潁郡大木町八丁牟田	09443-2-1029
大牟田市工芸指導所	836	大牟田市有明町48	09445-3-4221
佐賀県工業試験場	840	佐賀市神野町一本松	09522-4-4241
佐賀県窯業試験場	844	佐賀県西松浦郡有田町中部字田 の平	有田 2-3350

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
長崎県工業技術センター	852	長崎市文教町2-5	長崎 44-5484
長崎県窯業技術センター	859-57	長崎県東彼杵郡波佐見町井関郷 2240	波佐見 140
大分県別府商業工芸試験所	874	別府市荘園町9組	0977-2-0208
大分県日田産業工芸試験所	877	日田市玉川町	09732-2617
別府市工芸研究所	874	別府市末広町7-14	0977-3-1072
別府産業工芸試験場	874	別府市鶴見区鶴見原4546-15	0977-2-0205
宮崎県工業試験場	880	宮崎市西丸山町118	0985-23-7108
〃 都城分場	885	都城市年見町14-1	0986-2-4581
宮崎県中小企業総合指導センター	880	宮崎市広島2丁目4-9	0985-3-5431
宮崎市工業指導所	880	宮崎市橘通西1丁目1-1	0985-23-3171
熊本工業試験場	862	熊本市東町3-11	0963-68-2101
鹿児島県木材工業試験場	890	鹿児島市武町100	0992-52-0033
鹿児島県工業試験場	890	鹿児島市武町100	0992-54-9158
鹿児島市工芸研究所	890	鹿児島市天保山町19	0992-54-3583
鹿児島県大島染色指導所	894	名瀬市久里町5-37	名瀬 68
鹿児島県機械金属指導技術 センター	890	鹿児島市宇宿町3799-1	0992-55-9567

4. 官・公・私立大学及び各種学校（70校）

(1) 国立大学（8大学）

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
東北工業大学工学部 工業意匠学科	980	宮城県仙台市長町字越路19	0222-25-7441
福島大学 教育学部美術学科	960	福島市浜田町12-23	0245-2-2141
千葉大学 工学部工業意匠学科	280	千葉市弥生町1-33	0472-51-1111
東京芸術大学 美術学部・工芸科	110	東京都台東区上野公園内	828-6111
東京教育大学 教育学部・芸術学科	112	東京都文京区大塚3-29-1	946-2151
愛知教育大学	444	愛知県岡崎市明大寺町西郷中	0564-51-1511
京都工芸繊維大学 工芸学部意匠工芸学科	606	京都市左京区松ヶ崎御所海道町	075-781-4141
九州芸術工科大学 芸術工学部	810	福岡市大字塩原町226	092-64-3229

(2) 公立大学（3大学）

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
愛知県立芸術大学 美術学部・デザイン科	470-11	愛知県愛知郡長久手村大字岩 作字3ヶ峯1-1	05616-2-1180
京都市立芸術大学 美術学部工芸科	606	京都市東山区今熊野町日吉野50	075-561-7141
金沢美術工芸大学 美術工芸学部産業美術学科	920	金沢市出羽町3-1	0762-62-3531 ～1

(3) 私立大学（9大学）

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
武蔵野美術大学 造形学部産業デザイン科	188	東京都武蔵野市吉祥寺東町 3-3-7	0422-22-8171
東京造形大学 造形学部デザイン学科	192	東京都八王子市元八王子町 3-270-7	0426-61-4401

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
多摩美術大学 美術学部デザイン学科	158	東京都世田谷区玉川上野毛町 3-15-34	702-1141~5
玉川大学 文学部芸術学科	194	東京都町田市本町田4050	0427-32-8013
日本大学 芸術学部美術学科	176	東京都練馬区旭丘2-42	957-3111
女子美術大学 芸術学部産業デザイン科	166	東京都杉並区和田1丁目49-8	382-2271
名古屋女子大学 短期大学部デザイン専攻	467-91	愛知県名古屋市瑞穂己汐路町 3-40	052-852-1111
大阪芸術大学 芸術学部デザイン学科	585	大阪府南河内郡河南町東山 469	212-7212 -3781
九州産業大学 芸術学部デザイン学科	813	福岡市香椎宮の原琵琶橋287	092-68-1831

(4) 短期大学 (18短大)

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
札幌大谷短期大学 美術科	063	札幌市北16条東9丁目	0122-73-2451
北海道女子短期大学 工芸美術科	067	北海道江別市西野幌723	江別8011
千葉大学工業短期大学部 工業意匠科	280	千葉市弥生町1-33	0472-51-1111
トキワ松学園女子美術短期 大学 造形美術科	222	横浜市港北区鴨志田町1-204	044-98-1421 ~2
武蔵野美術短期大学 デザイン科	187	東京都小平市小川町1-736	0422-22-8171
名古屋造形芸術短期大学 造形デザイン科	453	名古屋市中村区稲葉地町7-1	052-411-2407
稲沢女子短期大学 生活デザイン科	492	愛知県稲沢市稲沢町7-1	0587-32-5141
すみれ女子短期大学 服装学科生活専攻	460	名古屋市中区宮出町52	052-241-7241
東邦学園短期大学 商業科	465	名古屋市千種区猪高町平和公園 平和堂東	052-782-1241
成安女子短期大学 意匠科	602	京都市上京区烏丸通今出川上ル 東入相国寺北門前町	075-231-2165 ~7

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
関西女子学園短期大学 デザイン美術科	562	大阪府箕面市稲490	0727-29-2504
浪速短期大学 デザイン美術科	558	大阪市東住吉区矢田部本通 1-30	06-691-7341
兵庫女子短期大学 デザイン科	675-01	兵庫県加古川市平岡町新在家 字順才2301	0794-24-0052 23-0071
睦学園女子短期大学 デザイン科	675-01	兵庫県加古川市平岡町	078-71-6637
九州造形短期大学 デザイン科	812	福岡市大字箱崎字宮前 2777-5	092-64-1495
大分県立芸術短期大学 美術科	874	大分県別府市野口原 3088-17	別府2-2188
育英工業高等専門学校	167	東京都杉並区井草2-35-11	396-6179

(5) 各種学校 (31学校)

学 校 名	郵便番号		
北海道美術学校	063	札幌市北27条西8丁目	01122-75-0777
札幌美術学園	060	札幌市南7条西25丁目	01122-56-7439
山形芸術学園	980	山形市旅竜町2-5	0236-22-4528
秋田美術学校	010	秋田市寺内三千刈155	0188-24-3910
秋田市立工芸学校	010-16	秋田市新屋大川町12-3	0188-62-6045
仙台デザイン専門学院	983	仙台市木の下71	0223-57-0760 56-1883
東京美術学園	162	東京都新宿区新宿3-7	352-7731
東京デザイナー学院	111	東京都千代田区神田駿河台 2-11	294-2831
東京デザイナー・アカデミー	156	東京都世田谷上北沢町 4-4-18	302-0629
日本デザイン・スクール	151	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-7	356-1501
東洋美術学校	167	東京都杉並区上荻窪1-150	389-9141
中央美術学園	177	東京都練馬区関町3-812	929-1194
近代造形学園	124	東京都葛飾区本田淡之須田 47	697-5498
千代田デザイナー学院	110	東京都台東区上野公園18-7	821-2127
お茶の水美術学院	101	東京都千代田区神田駿河台2-3	293-8736
大塚テキスタイル・デザイン 専門学院	160	東京都新宿区須賀町10	357-3671
お茶水デザイン学校	113	東京都文京区湯島1-5-32	813-1698

学 校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
阿佐ヶ谷美術学院	1 6 6	東京都杉並区高円寺 3 - 1 8 4	3 1 3 - 8 6 5 5
桑沢デザイン研究所	1 5 0	" 渋谷区北谷町 3 2	4 6 3 - 2 4 3 1
武蔵野美術学校	1 8 0	" 武蔵野市吉祥寺東町 3 - 3 - 7	0422-22-8171
名古屋アート・スクール	4 6 4	名古屋市千種区丘上町	052-761-6815
なんばデザイナー学院	5 5 6	大阪市浪速区日本橋東 4 - 1 4	06-641-5544
大阪デザイナー学院	5 3 0	" 北区堂島船大工町毎日大 阪会館南館	06-633-1389 06-345-4676
神戸 Y M C A 学院	6 5 1	神戸市葺合区上筒井通 1 丁目	078-23-6201
芦屋芸術学院	6 5 9	兵庫県芦屋市上宮川町 9 9	0797-23-2770
山口学園芦屋デザイナー・スク ール	6 6 2	兵庫県西宮市苦楽園四番地 1 5 - 1 9	3 4 - 6 1 5 2
呉美工専門学校	7 3 7	広島県呉市本通 3 - 2 4	0823-21-2613
後楽園工芸職業学校	7 0 0	岡山市弓之町 1 3 - 5	0862-22-2216
徳島芸術学院	7 7 0	徳島市伊月町	徳島 2-6262
九州芸術学院	8 1 2	福岡市箱崎	福岡 64-1495
大分造形美術専門学校	8 7 0	大分市大津町 3 - 3	0975-4-0744

5. 中央・地方産業デザイン団体(104団体)

(1) 中央公共団体(6団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
日本産業デザイン振興会	1 0 0	東京都千代田区丸ノ内 3 - 2 - 2 第 2 0 7 号室	2 1 1 - 4 4 1 1 (内 5 9 0 ~ 1)
日本貿易振興会 ジャパン・デザ インハウス・デザイン課	1 0 7	東京都港区赤坂葵町 2 番地	5 8 2 - 5 5 1 1
日本繊維意匠センター	5 4 1	大阪市東区備後町 3 - 8 綿業会館新館	06-203-0831
日本陶磁器意匠センター	4 6 1	名古屋市東区布池町 3 2 日本陶磁器センター	052-941-4528
日本輸出雑貨センター	1 1 1	東京都台東区蔵前 3 - 4 - 9	8 6 6 - 7 1 6 1
日本機械デザインセンター	1 0 7	東京都港区赤坂 1 丁目 9 - 1 5	5 8 2 - 6 2 2 1

(2) 地方公共団体 (99団体) (50音順)

(イ) 東北・北海道地方 (9団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
岩手工芸協会	020	岩手県都南村津志田	盛岡 36-3640
岩手デザイナー協会	020	岩手県工業試験場内 岩手県盛岡市中の橋通り川徳内	盛岡 22-3101
北日本デザイン協会	980	仙台市光禅通り20	22-0556
仙台市工芸振興協会	980	仙台市表小路 仙台市産業局商工課内	23-4111
東北・北海道工芸協会	980	仙台市原の町苦竹 東北工業技術試験場内	57-5211
弘前工芸協会	036	弘前市在府町81	弘前 12-0595
北海道工芸意匠考案保護審議会	063	札幌市琴似町八軒1京西3丁目 道立工業試験場内	61-3281
北海道プロダクト・デザイン協会	060	札幌市南22西13丁目 北海道 教育大学第3美術研究室内	62-3281
北海道木彫工芸研究所	063	札幌市琴似町八軒 北海道立工業試験所	61-3281

(ロ) 関東・甲信越・静・地方 (30団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
クラフト・センター・ジャパン	103	東京都中央区日本橋2-6 丸善ビル	272-7211
国際モード振興協会	100	東京都千代田区大手町1-5-7 経団連会館	279-1411
全国商業美術家連盟	104	東京都中央区銀座7-4-7 銀座電通ビル	571-0472
千葉県商業美術協会	280	千葉市亥鼻町302	0472-22-2560
千葉県計量器デザイン研究所	280	千葉市新田町135	0472-22-2560
東京商業美術家協会	104	東京都中央区銀座7-4-7 銀座電通ビル	571-0472
東京染織意匠保護協会	103	東京都中央区日本橋富次町8 綿商会館	662-2251
長野県デザイン協会	380	長野市大字南長野字中下692-2	2-0111(代)
長野県考案保護審議会	380	(長野県商工部工業課内 同 上)	〃
日本輸出金属洋食器工業組合 (金属洋食器デザイン審議会)	959-12	新潟県燕市大字燕4360-1	02566-2-5121
日本インダストリアル・デザ イナー協会	150	東京都渋谷区北谷町4 東亜マンション605	403-3736
日本インテリア・デザイナー協会	150	東京都渋谷区神宮前1-14-34	403-6647
日本工芸会	110	東京都台東区上野公園 東京国立博物館	822-1111 内258
日本工芸技術協会	114	東京都太田区下丸子4-21-2 工業技術院製品科学研究所内	759-0151

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
日本漆工協会	101	東京都千代田区神田鍛冶町1-4	265-5757
日本青年デザイナー協会	103	東京都中央区日本橋通1丁目9-2 白木屋内	211-1963
日本デザイナー・クラフトマン協会	151	東京都渋谷区千駄ヶ谷1-21-13	401-5295
日本デザイン・コミテイ	164	東京都中野区東中野5-10-15	363-5661
日本デザイン保護機関連合会	101	東京都千代田区三年町1 特許庁意匠課内	581-1101
日本デザイン文化協会	104	東京都中央区銀座3-9-19 美術家会館内	542-2712
日本デザイナー・クラブ	104	東京都銀座7-9-10	571-3821 4301
日本ディスプレイ業団体連合会	103	東京都中央区日本橋富沢町8 綿業会館	662-2251
日本ディスプレイ・デザイン協会	107	東京都中央区銀座7-1 銀座電通ビル3階	571-6387
日本パッケージ、デザイナー協会	107	東京都港区南青山2-2-16 中島ビル	402-4542
日本包装技術協会	103	東京都中央区銀座5-12-18 本州ビル	453-2641
日本流行色協会	101	東京都千代田区四番町4 日本染色会館	262-7211
日本郷土玩具の会千葉支部	280	千葉市今井1-23	0472-61-3884
静岡県産業デザイン協会	420	静岡県駒形通5丁目 静岡県工業試験場内	0542-53-1151
横浜染織図案家協会	235	横浜市磯子区磯子?-29-36 (横浜市中小企業指導センター)	045-761-3821
横浜輸出スカーフ・デザイン振興会	230	横浜市中区住吉町1-2 支所内	045-681-3261

(*) 東海・北陸地方(20団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
愛知県産業工芸協会	460	名古屋市中区三の丸3-1-2 愛知県商工部工業課内	052-961-2111
愛知県室内装備設計協会	454	名古屋市中川区柳島町5-12 愛知県木材工業協同組合	052-861-2719
石川県デザイン協会	920	金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所内	072-63-1151
岐阜県繊維デザイン協会	501-62	岐阜県羽島郡笠松町 常盤町・工業試験場内	05838-7-4146
岐阜県陶磁器デザイン協議会	507	岐阜県多治見市陶元町 岐阜県陶磁器試験場内	0577-22-5381
岐阜県プラスチック・デザイン協会	500	岐阜県三上上沼 岐阜県プラスチック工業組合内	0582-71-7237
岐阜県木工デザイン協会	506	高山市八幡町100 岐阜県工芸試験場内	0577-32-0379
岐阜県金属デザイン協会	501-32	関市小瀬1283 岐阜県金属試験場内	05752-2-0147
岐阜県紙及紙製品デザイン協会	501-37	美濃市前野 製紙試験場内	05753-3-1241
中部デザイン協会	460	名古屋市中種区花田町3-58 愛知県工業指導所内	052-731-2516

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
富山県室内装備設計技術協会	930	富山市堀川小泉811	富山 25-2549
富山県デザイン協会	933	富山県高岡市中川1-1-10 富山県工業試験場内	高田 21-2121
富山商業美術協会	937	富山県魚津市村木2391	魚津 2-0867
名古屋商業美術家協会	460	名古屋市中区丸ノ内2-11-28	201-5800
日本建築家協会	460	名古屋市中区栄4-8-26 昭和ビル 東海建築文化センター内	名古屋261-1451
日本デザイナー・クラブ中部支部	460	名古屋市中区丸ノ内3丁目12-21 中日新聞文化事業部内	" 201-8811
日本陶磁器意匠センター	461	名古屋市中区布施町32 日本陶磁器センター	961-7231
日本陶磁器デザイナー連盟	461	名古屋市中区布施町32 日本陶磁器意匠センター内	052-941-4528
日本包装技術協会中部支部	464	名古屋市中区千種区花田町3-58 愛知県工業指導所内	名古屋731-2516
三重県広告美術協同組合	510	四日市市浜田12-4	四日市52-4282

(二) 近畿地方 (19団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
大阪市女性産業デザイナー協議会	530	大阪市北区太融寿町33 大阪合同ビル	大阪 313-4681
大阪繊維意匠保護協会	540	大阪市東区安土町1-23 新舟場ビル内	大阪 361-7568
大阪図案家協会	545	大阪市阿部野区昭和町2-2-1	大阪 622-5263
大阪展示美術協会	542	大阪市南区東清水町54 (株)白水社内	
(財)大阪デザイン・ハウス	530	大阪市北区玉江町2-2 大阪国際貿易センター内	大阪 443-3501
大阪工芸協会	540	大阪市東区大手前之前 大阪府商工部通商観光課内	941-0351
近畿デザイナー協会	543	大阪市天王寺区島ノ辻123 阪本ビル(株)三研内	大阪 771-7026
京都市クラフト・センター	605	京都市東区五条橋	56-9660
京都陶磁器意匠保護協会	605	京都市東山五条通東大路 東入ル 京都陶磁器会館内	京都 561-1030
クラフトマン協会	520-34	滋賀県甲賀郡信楽町江田	信楽 98
神戸貿易意匠協会	650	兵庫県神戸市生田区加納町6-7 神戸市経済局貿易課内	33-8181
滋賀県信楽クラフト協会	520-34	滋賀県甲賀郡信楽町長野 信楽窯業試験場内	074882-36
神戸インダストリアル・デザイン・スクラブ	650	兵庫県神戸市生田区加納町6-16	神戸 39-1501
総合デザイナー協会 (DAS)	550	大阪市北区堂島上2-36 毎日新聞社内	341-5895
奈良県工芸協会	630	奈良市橋本町21 奈良県商工観光館内	奈良 2-4661
日本室内装備設計士協会	540	大阪市東区内本町橋詰町30 本町ビル	06-942-3676

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
日本図案家協会	602	京都市上京区烏丸通上立賣 上る 京都市染織試験場内	京都 441-3165
日本染織意匠保護協会	602	京都市上京区烏丸通四条西八 京都産業会館内	京都 211-5308
日本ディスプレイ・デザイナー 協会	530	大阪市北区南森町1-1 デザイン・ルーム・オリジン気付	大阪 351-0172

(㊦) 中国地方(10団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
岡山産業デザイン研究会	700	岡山市伊福町4-3-8 岡山県工業試験場デザイン科内	岡山 52-5136
関門北九州デザイン協会	750	山口県下関市西之端町52 下関商工会議所内	
島根県デザイン連盟	690	島根県松江市奥谷町79-2	
島根県物産協会	690	島根県松江市殿町自治会館内	松江 21-4422
高田正子モード教室	683	鳥取県米子市加藤町2-40	米子 2-4844
鳥取県産業デザイン協会	680	鳥取市栗谷町2 足立アトリエ内	鳥取 22-6747
鳥取産業デザイン協会	680	"	鳥取 22-3322
鳥取ローカル・メイト	680	鳥取市行徳い705 工業試験場内	鳥取 22-8322
広島県家具組合連合会	734	広島市東本浦町1-2	広島 82-0690
広島総合デザイナー協会	733	広島市庚午北町4丁目6-9 大蔵ビル内	広島 71-8256

(㊧) 四国地方(4団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
香川県物産協会 (意匠保護富査会)	760	香川県高松市栗林町1-20-16	0879-31-3332
四国タオル工業組合	794	愛媛県今治市旭町1-4-10	今治 2-7000
高知県新製品開発あつ旋協会	780	高知市中島町114 商工福祉会館内	0888-75-9245
日本手製工業組合	769-27	香川県大川郡白鳥町松原110-1	三本松 2-3209

(㊨) 九州地方(6団体)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
有限会社近代デザイン	812	福岡市上川端互町ビル	福岡 28-0523

団 体 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
鹿児島県家具工業振興会	910	鹿児島市武町100	0992-52-0013
鹿児島県特産品協会	892	木材工業試験場内 鹿児島県名山町9-1	0992-23-9171
九州クラフト・デザイナー 協会	810	福岡市大神	福岡 74-0131
九州クラフト・デザイナー 協会	877	大分県日田市田島町2-8-41	09732-6017
九州デザインコミッテイ	810	福岡市天神1-11-7 (株) ニック内	福岡 77-2234

6. 全国検査機関 (23)

(1) 国立試験研究機関 (3)

機 関 名	郵便番号	所 主 地	電話番号
工業技術院・製品科学研究所	114	大田区下丸子町4-21-2	759-0151
" 名古屋工業技術試 験所	642	名古屋市北区平手町1丁目	052-911-2111
" 繊維高分子材料研 究所	221	横浜市神奈川区沢渡4	045-311-5901

(2) 地方公設検査機関 (20機関)

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
工業検査所	104	東京都中央区銀座6-15-1	541-4721
日本硝子製品検査協会	106	東京都港区新橋3-1-9	591-6008
日本輸出雑貨センター	111	東京都台東区蔵前3-4-9	866-7161
日本プラスチック検査協会	111	東京都台東区柳橋2-22-13	862-4841
日本ミシン検査協会	160	東京都新宿区坂町13	351-7221
建材試験センター	104	東京都中央区銀座6-15-1	542-2746
日本文具検査協会	174	東京都荒川区西日暮里2-30-6 通産省内	891-4599
ゴム製品検査協会	131	東京都墨田区向島4-1-1	614-1101
日本自動車検査協会	107	東京都港区赤坂1-9-15 自転車会館	582-3311
日本写真機検査協会	102	東京都千代田区一番町25	263-7111
日本望遠鏡検査協会	105	東京都港区新橋1-17-2	591-7101
日本機械金属検査協会	107	第二光和ビル 東京都港区赤坂1-9-15 自転車会館	583-4131

機 関 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
日本燃焼器具検査協会	150	東京都渋谷区東2-24-2	400-6211
日本時計検査協会	101	東京都千代田区外神田3-14-9 北沢ビル	253-0635
日本ガラス機器検査協会	174	東京都板橋区小豆沢4-1-10	960-4251
日本電気用品試験所	151	東京都渋谷区代々木5-14-12	466-5121
日本ミシン検査協会	160	東京都新宿区坂町13	351-7221
建材試験センター	103	東京都中央区銀座6-15-1 通産省内	542-2744
日本陶磁器検査協会	461	愛知県名古屋市東区布池町32 日本陶磁器センタービル3階	052-941-6356
日本金属洋食器検査協会	959-12	新潟県燕市大字東太田3492	02566-2-3131

Argentina

Centro de Investigación de Diseño Industrial	Maipú 171, Buenos Aires
Instituto de Diseño Industrial Facultad de Ciencias Industriales - UNL	Avenida Pellegrini 366, Rosario - Santa Fe

第Ⅲ部 海外主要産業デザイン団体名簿
 (38ヶ国、117団体)

Australia

Industrial Design Council of Australia	Degraves Building (1st Floor), 21 Degraves Street Melbourne - Victoria
Society of Industrial Designers of Australia	105 Walker Street, North Sydney, N.S.W.
Australian Design Centre	7 Bridge Street, Sydney
Industrial Design Institute of Australia	Finance Gate East Tower, 151 Flinder Street Melbourne 3000

Austria

Osterreichisches Institut für Formgebung	Salzburgergasse 1, 1180 Vienna
Osterreichische Werkbund	Klosterneuburg 10, 1-Vienna
Osterreichisches Zentrum Produktform (Austrian Design Centre) Osterreichischer Bauingenieur	Palais Liechtenstein, Vienna 1000

Belgium

Institut d'Etudes Supérieures	50 rue de la Concorde, Brussels 5
Union Professionnelle des Industriels-Designers de Belgique (I-D)	114 Avenue du Graf Volart, Waremme, province de Namur
Design Centre	51, Galerie Rayensman, Brussels 1

Brazil

Associação Brasileira de Desenho Industrial	Alameda Renan Castro 385, São Paulo
---	-------------------------------------

International Council of Societies 51 Galerie Ravenstein,
Brussels 1, Belgium of Industrial Design(ICSID)

Argentina

Centro de Investigación de Diseño Industrial	Maipu 171, Buenos Aires
Instituto de Diseño Industrial Facultad de Ciencias Matemáticas - UNL	Avenida Pellegrini 250, Rosario - Santa Fe
Asociación de Diseñadores Industriales de la Argentina	Libertad 1235, Buenos Aires

Australia

* Industrial Design Council of Australia	Degraves Building (1st Floor), 21 Degraves Street Melbourne, Victoria
Society of Industrial Designers of Australia	105 Walker Street, North Sydney, N S W
Australian Design Centre	8 Bridge Street, Sydney
Industrial Design Institute of Australia	Princes Gate East Tower, 151 Flinder Street Melbourne 3000

Austria

* Österreichisches Institut für Formgebung	Salesianergasse 1, 1130 Vienna
Österreichische Werkbund	Kämtnerstrasse 15, 1 Vienna
Österreichisches Zentrum Produktform (Austrian Design Centre) Österreichisches Bauzentrum	Palais Liechtenstein, Vienna 1090

Belgium

* Institut d'Esthétique Industrielle	60 rue de la Concorde, Brussels 5
Union Professionnelle des Industriels Designers de Belgique (UID)	17a Avenue du Cerf Volant, Watermael, Brussels
Design Centre	51, Galerie Ravenstein, Brussels 1

Brazil

* Associação Brasileira de Desenho Industrial	Alameda Fernao Cardim 395, São Paulo
---	--------------------------------------

Bulgaria

* Council of Industrial Design, State Committee for Science and Technical Progress	8 Slavianska Str, Sofia
--	-------------------------

Canada

Association of Professional Designers of Ontario	1460 Don Mill Road, Don Mills, Ontario
Place Bonaventure Inc	3715 1 Place Ville Marie, Montreal, P Q
National Design Centre	131 Bloor Street West, Toronto 5, Ontario
The Manitoba Design Institute	511 Norquay Building, Winnipeg, Manitoba
Association of Quebec Industrial Designers	1430 St Denis Street, Montreal, P Q
* National Design Council Department of Industry	Wellington Street, Ottawa
* Association of Canadian Industrial Designers (ACID)	Suite 512, 55 York Street, Toronto 1, Ontario

Ceylon

Tambapanni Institute of Culture	Nugegoda
---------------------------------	----------

China

* China Productivity Trade Center (CPTC)	台北市西寧南路 6 2 号
* China Industrial Design Association (CIDA)	台北市西寧南路 6 2 号 ;

Czechoslovakia

Sváz Slovenských Výtvarných Umelcov (Society of Artists & Designers)	Sekcia Priemyselného Výtvarníctva Dibrovovo Nám 8, Bratislava
Svaz Československých Výtvarných Umělců (Society of Artists & Designers)	250 Gottwaldovo Nábř, Prague

Rada Výtvarně Kulture Vyroby/ Středisko Výtvarne Kulture Vyroby (Council of Industrial Design/Design Centre)	Na Pořici 24, Prague 1
Ústředí Lidové Umělecké Vyroby (Central Organization of Folk Handicrafts)	Národní tř 36, Prague 1
Ústav Bytové a Oděvní Kulture (UBOK) (Institute of Interior and Fashion Design)	Na Prikope 27, Prague 1
Denmark	
* Selskabet for Industrial Formgiving	G1 Kongevej 19, Copenhagen V
Den Permanente (The Permanent Exhibition of Danish Arts & Crafts)	Vesterport, Copenhagen V
* Landsforeningen Dansk Kunst- haandvaerk	58 Bredgade, Copenhagen K
Selskabet til Haandarbejdets Fremme	Kongens Nytorv 30, Copenhagen K
Eire	
Córas Tráchtála/Irish Export Board	Baggot Street Bridge, Dublin 2
Kilkenny Design Workshops Ltd	Kilkenny
Finland	
Omnamo/Taidehalli	Ainonkatu 3, Helsinki
Oy Finnish Design Center AB	Kasarmikatu 19, Helsinki 13
Suomen Taideteollisuusyhdistys - Konstflitföreningen i Finland (Finish Society of Crafts & Design)	Eteläranta 10, Helsinki
Taideteollinen Oppilaitos (The Institute of Industrial Arts)	Kaivokatu 2 - 4, Helsinki 10
Taideteollinen Oppilaitos (The Institute of Industrial Arts)	Kaivokatu 2-4 B, Helsinki 10
France	
* Institut d'Esthétique Industrielle	62 rue de Courcelles, Paris 8

Compagnie de l'Esthétique Industrielle	39 Avenue d'Iéna, Paris 16
* Chambre Syndicale des Esthéticiens et Stylistes Industriels	23/25 Avenue MacMahon, Paris 17
* Formes Utiles	83 Rue des Marguerites, Nanterre 92
<hr/>	
Germany	
Rat für Gestaltung	Clara - Zetkin - Strasse 28, 108 Berlin, East Germany
Deutsches Handwerks - Institut Hauptabteilung Praktische Gewerbeförderung Abteilung Formgebung	Johanniterstrasse 1, 53 Bonn
Zentralverband des Deutschen Handwerks Hauptausschuss Kultur	Johanniterstrasse 1, 53 Bonn
* Rat für Formgebung	Eugen Bracht Weg 6, 61 Darmstadt
Bund Deutscher Gebrauchsgraphiker eV	Postfach 6405, Kaiserswerther Strasse 183, 4 Düsseldorf 1
Industrieform eV	Steeler Strasse 29, 43 Essen
Institute für Wohnberatung	Kaiserplatz 16, Frankfurt am Main
* Verband Deutscher Industrie Designer eV	Birkenwaldstrasse 165C, 7 Stuttgart
Gestaltkreis im Bundesverband der Deutschen Industrie eV	Habsburgerring 2 - 12, 5 Cologne
VDI/VDMA - Gemeinschaftsausschuss 'Technische Formgebung' VDI-Fachgruppe Konstruktion (ADKI)	Prinz - George - Strasse 77/79, 4 Düsseldorf
Kunstgewerbe - Verein Hamburg Museum für Kunst und Gewerbe	Steintorplatz, 2 Hamburg 1
LGA - Zentrum 'Form'	Kanzleistrasse 19, Stuttgart
* Zentralinstitut für Gestaltung	Clara Zetkin Strasse 28, Berlin 108
Internationales Design - Zentrum Berlin eV	1000 Berlin 30, Budapester Strasse 43, W - Germany

Great Britain

Council of Industrial Design Scottish Committee	46 West George Street, Glasgow C2, Scotland
* Council of Industrial Design, The Design Centre	28 Haymarket, London SW1, England
The Crafts Centre of Great Britain	43 Earlham Street, Covent Garden, London WC2, England
The Manchester Building & Design Centre Ltd	115 Portland Street, Manchester 1, -England
Liverpool Building & Design Centre Ltd	Hope Street, Liverpool 1, England
* Society of Industrial Artists & Designers	7 Woburn Square, London WC1, England
Midland Design & Building Centre Ltd	Mansfield Street, Nottingham, England

India

* National Design Institute	Paldi, Ahmedabad 7
The Indian Institute of Art in Industry	Artistry House, 15 Park Street, Calcutta 16

Israel

* The Israel Institute of Packaging & Industrial Design	2 Carlebach Street, P. O. Box 20038, Tel-Aviv
Mascit (a display of arts & crafts)	32 Ben Yehuda Street, Tel-Avis

Italy

* Associazione Disegno Industriale (ADI)	Via Aristide de Togni 26, Milan
---	---------------------------------

Japan

Japan Pottery Design Centre	32 Nunoike - cho, Higashi - Ku, Nagoya
Japan Textile Colour Design Centre	Mengyo Kaikan Building, 8 Bingomachi, 3 - chome, Higashi - Ku, Osaka
Osaka Design House	2 - 2 Tamae - cho, Kita - Ku, Osaka
Japan Design Committee	Chuseiren Building, 1 - 2 Hirakawa - cho, Chiyoda - Ku, Tokyo

* Japan Industrial Designers' Association	Toa Mansion 605, Jinnan 1-10-16, Shibuya-ku, Tokyo
Japan Design House/JETRO	c/o Kokusai Kanko Kaikan Building, 1-1 Marunouchi, Chiyoda-Ku, Tokyo
* Industrial Products Research (IPI)	2-21, 4-chome, Shimomaruko, Ota-Ku, Tokyo

Mexico

Asociacion Mexicana de Diseñadores A.C.	Fresnos 262, Mexico 20 D.F.
* Industrial Designers in de Federatie (I.D.F)	Aristoteleslaan 5, Zeist

Netherlands

Kring van Industriële Ontwerpers	c/o Mr. F.H.C. Vander Put N.V. Philips Gloeilampfabrieken, Eindhoven
Voorlichtingscentrum Stichting Goed Wonen	Leidestraat 5, Amsterdam 2
* Nederlandse Industriële Designers in de Federatie (NIDF)	Kelzersgracht 609, Amsterdam
Instituut tot Voorlichting bij Huishoudelijke Arbeid	89 Jan van Nassastraat, The Hague
* Raad voor Industriële Vormgeving	Beurs, Damrak, Amsterdam
C O S A - Centraal Orgaan voor het Scheppend Ambacht (Central Organ of the Creative Crafts)	Oude Delft 145, Delft

New Zealand

* New Zealand Society of Industrial Designers	P.O. Box 3432, Auckland
---	-------------------------

Norway

Forum (The Permanent Exhibition of Norwegian Arts & Crafts & Industrial Design)	Rosenkrantzgt 7, Oslo
* Landsforbundet Norsk Brukskunst (The Norwegian Association of Arts & Crafts & Industrial Design)	Rosenkrantz Plass, 7 Oslo 1

Norske Gruppe for Industriell Formgiving	Stortings Plass 7, Oslo
Norsk Design Centrum	Drammensveien 40, Oslo 2
Pakistan	
* Pakistan Council of Industrial Design	52 - G - 2, PECHS 1 Havelock Road Karachi Karachi 29
Poland	
Rada Wzornictwa i Estetyki Produkcji Przemysłowej (Council for Design and Aesthetics in Industrial Products)	Ul Krakowskie Przedmieście 46/48, Warsaw
Instytut Wzornictwa Przemysłowego (Institute of Industrial Design)	Ul Swietojska 5/7, Warsaw
* Stowarzyszenie Projektantow Form Przemysłowych (Association of Industrial Designers)	Ul Smolna 13/60, Warsaw
Portugal	
Instituto Nacional de Investigacao Industrial; Industrial Design Department	Rua Garcia de Orta 68, Lisbon 3
Singapore	
Product and Design Centre	John Little's Building, Raffles Place
South Africa	
* Society of Industrial Artists & Designers of South Africa	P. O. Box 4429, Capetown P. O. Box 8698, Johannesburg P. O. Box 1968, Durban
Design Institute of South Africa	Private Bag 191, Pretoria
Spain	
* ADI/FAD - Agrupación de Diseño Industrial del FAD	Plaza Nueva 5, Barcelona 3
Fomento de las Artes y de la Estética	Avenida del Presidente Carmona 7 - 9, Madrid

Sweden	
* Svenska Slödföreningen (The Swedish Society for Industrial Design)	P. O. Box 7047, Stockholm
* Society of Swedish Industrial Designers	Västerlånggatan 45, Stockholm C
Switzerland	
* Schweizerischer Werkbund SWB	Florastrasse 30, 8008 Zürich
* SID: Verband Schweizer Industrial Designer	
Tanzania	
Tanganyika Arts and Crafts Society	Independence Avenue, Dar - es - Sallam
Thailand	
Industrial Product Design Centre	Soi Klueynamthai, Rama IV Road, Bangkok
U. S. A.	
Institute of Design Illinois Institute of Technology	3360 South State Street, Chicago, Illinois 60616
Henry End Associates International Design Center	4141 North Miami Avenue, Miami, Florida
American Craftsmen's Council	29 West 53rd Street, New York, N Y 10019
* Industrial Designers Society of America (IDSA)	60 West 55th Street, New York, N. Y. 10019
National Design Center	415 East 53rd Street, New York, N. Y.
The American Ceramic Society Inc	4055 North High Street, Columbus, Ohio 43214
American Institute of Interior Designers	673 Fifth Avenue, New York, N Y 10022
National Design Center	Marina City, Chicago, Illinois

U S S R

* All - Union Scientific Research
Institute of Industrial Design

VNIITE, Moscow 1 - 223

Yugoslavia

* Savez Likovnih Umetnika Primen-
jenih: Umetnosti Jugoslavije
(Federation of Artists of Applied
Arts in Yugoslavia)

Terazije 26/II, Belgrade

第Ⅳ部 公設試験研究所のデザイン研究内容紹介

本項は、地方公設試験研究指導機関のうち都道府県57機関に、デザイン研究、指導等の内容紹介をご依頼申しあげましたところ、別紙21機関より回答が得られました。

当初、計画といたしまして、日本産業デザイン振興会の会報「JIDPO ニュース」に掲載させていただくことになっておりましたが、今回本書発刊に際し、その内容関連深いものであり、また貴重なる資料でもありますことから、本書に掲載することといたしました。

本項作成のため、ご多用中のところご協力を賜りました関係者各位に対し、深く感謝申しあげます。

青森県工業試験場

当場でのデザイン研究としては、前身の看板が工芸指導部で主なデザイン指導としては、次の品種が挙げられる。漆器（津軽塗）、ブナコ製品（当試験場の開発したブナ材の高度利用木工品）こぎん製品、あけび蔓製品、陶器（津軽焼）その他、以上挙げた品種を対象とした津軽の風土に密着した伝統産業と云おうか固有工芸の臭いを持ったものだけに、従来どおりのデザインの研究指導が関連されている。そして業者数は極く小数であるけれど、民臭、民芸ブームと手工芸ブームの中に在って陽の当たる産業として注目されている。数年前から“弘前クラフト展”を松屋において開催しているが序々に成果を上げている。デザイン以前のいろいろな諸問題を内臓しているが、それはそれとして行政面とは不離一体のものであるから、態度とその目標をあやまらなければ、津軽のクラフトも未来があり、たのしい夢でもってこれからが黎明であるからである。

本年度のその研究試作のねらいとしては70年代に相応しい伝統産業の創成を目標に、その特色と意義付けの研究態度であろう。古い伝統産業は古い生産方式を基盤として成り立ってきた。

現代社会の文化面に適応する“手と道具”によって作り出される価値。または伝統産業のあり方としては、新しい時代の方向づけと新しい時代の生活様式に即した創造を積極的に取り上げなければ

ばいけない。手工芸は“手と道具”によって作られるその諸機械の使われる生産方式とはこれすべて“手”の延長であり道具なのであろう。このクラフトの生きる道は、岩のはたらきによって個性的な美をつくり出す。……手仕事の創造的な価値を生む個性的な製品をつくり出す方向にもつていくことだが、この理想的であると考えられる価値と製品から手仕事の働らきを前向きに受けとめ、懐古的、趣味的な意識に打ち克ってこそ、現代の民芸から伝統工芸まで含む新しい立場をうち立てることの強調である。

なお、45年度におけるデザイン研究試作の項目を挙げると

◎ 意匠に関する研究。意匠担当者

主任研究員 望月好夫

漆工課長 青木真博

物が作られ、使われていくには一定の社会的条件、製作メーカーの企業性、商業ルートの販売性、使用者の趣向性等こうした条件下で、素材を生かし新しい機能と美の可能性を追及した試作研究をねらいとする。

1) 伝統的パターンの近代化加飾について

(漆器)

2) 卓上用品の漆器素地について

3) 固有工芸デザインについて

(漆工課長 青木真博)

青森県木工指導所

青森県木工指導所は、業界指導に密着した研究目標と体制のもとに、応用研究に主体をおいて活動している。

デザイン研究についても、県内木工の中心とな

る家具に重点をおき、その方向も家具の品質、意匠の向上をはかるためのデザイン改善と、先導的商品の研究試作が主なるものとなっている。

このほかに、日本優秀デザイン商品輸出推進事

業で43年度以来たい頭してきたヒバ曲物についても、メーカーと共同で材料の特徴を生かしたデザインの開発をすすめている。

家具に関する45年度の主な研究実施計画は次のとおりである。

1 先導的商品の研究試作

収納家具（タンス）メーカーの品種更新を目標とした多用途棚の研究を42年度より継続実施している。この研究では ① 分解、組立てが簡単である。 ② 棚の高さが自由に変えられる。 ③ 生産性の高い構造とする。などをテーマとしたデザインの追求とこの試作を行なう。

次は、家具の高級品質化と多様化に対応する業界の要請による、オリジナルな青森家具の研究試作である。この研究は、従来までの青森家具の

イメージを一新して、意匠面でも、また機能的にも特色を持った青森の家具を目ざして、加飾のあり方や伝統工芸とり入れ方、新しい機能性などを中心としたデザインの展開をはかるもので、当分継続して行なう。

2 デザインの改善研究

家具商品の需要の拡大には、需要への適応した商品の改善が要求されるが、このイメージアップに対するメーカーの要望も次第に多くなっている。この研究では、需要者の嗜好や使用環境、使用内容などを調査分析して、品質、表面材、機能性、流行性などを問題としたデザインの新規性の追求で、毎年継続実施している。

(意匠課長 吉田元太郎)

秋 田 県 工 業 試 験 場

本県は豊富な材料資源にささえられ、かつ積極的な工業開発により、木材、木製品などの工業出荷額が年々増加している。

しかしながら、第2次産業である製造業の大部分が中小企業であり、最近の求人難や労働力の流出による生産量の低滞は、特に家具、建具業界の不振を招き、下向線をたどり生産地から消費地への移向を示している。

しかし、曲物、杉工芸品、桜皮細工などの固有雑貨工芸品の数業種は、量産化が軌道にのり、中央市場との流通経路も安定していて旺盛な需要で活況をみせている。

当試験場では、これら業界の現状に応需しながら、デザイン、技術面の試験研究を行なっているが、デザイン関係の機構及び研究内容は次のとおりである。

デザイン科、第一係2名、第二係2名、のほ

か、能代指導所1名、川連指導所1名、計6名のスタッフであるが、第一係はクラフト、観光工芸品、第二係は家具、建具などのデザイン研究を担当している。

能代指導所は家具と建具を、また川連指導所は漆器を主として技術指導を行なっている。

45年度デザインに関する研究テーマ

1 特殊木工機械応用による木製品のデザイン研究。

コッピングマシン応用による家具及び雑貨工芸品の手工芸的技法と量産化を考慮したデザイン研究。

2 秋田の民族資料に関するデザインの展開と活用研究。

民具、工具、民芸品など失われつつある民族資料を調査、発掘してフェイルするとともに、新規にデザインの展開をはかる。

3 幼児用遊具に関するデザイン研究。

幼児を対象とした室内木製遊具のデザイン研究。

4 住宅産業に関する建具デザイン研究。

住宅産業と住生活の多様性を追求し、順応できる建具のデザイン研究。

以上の計画に基く研究のほか、経常研究として移輸出向木製雑貨工芸品、収納家具、育児家具、建具の新規製品開発についてデザイン研究を行なっている。

また、桜皮細工、漆器などの産地のグループや研究会に対して、定期的にデザイン指導を行なうとともに、共同で試作研究をすすめている。

今後の方針として、県産業界のデザイン、情報センターとしての役割を果たすとともに、企業内にデザイナーを育成して、製品開発面についての自主的な適応性をそなえるべく指導してゆきたい。

(技師 佐野祐司)

埼玉県工芸試験場

デザインは消費者の欲求水準の向上をはかり、利潤を求める重要な経済活動のかなめであるゆえ公設試験機関におけるデザイン業務も民間企業のそれと異質なはずはない。

したがって、試験機関という枠でデザイン研究についてのビジョンないし先導的役割を考える以前に、われわれは県内企業の経済発展と商品の質的向上を優先してゆかねばならない任務を感じるものである。

- 1) 家具、建具等木製品のデザインおよび試作に関する新製品開発研究
- 2) 移輸出向産業工芸品の高度化に関する研究。
- 3) プラスチック、金属材料等の複合化による軽工品のデザインおよび試作に関する研究等をかかげて発意的にデザイン研究を行なっているが、内面的には民間企業のニーズに反応するような指導デザインに主点がおかれ、しかも評価はつねに商品として市場に流通することを前提としている。

最近の指導デザインから、ステレオ・ファニチャー、収納セット、リビング・セット、育児用家具、ユニット棚およびクラシック調のライティング・ビュローにみられる一連のものが県内家具メーカーにより商品化が進められている。

また軽工品として小型ミシン、工芸鋳物、電気器具類等にわたるデザイン指導によって、分野の多元化に指向していることも近年の特質となっている。当场には昨年にプラスチックの成型加工部門の試験研究が付加されたので今後はさらにプラスチック製品の改善に留意してゆくつもりである。

デザインは需要創造をたかめ、占有率拡大のための誘導を考えると、消費者主権による構造の変化に対応することを基盤において、豊かな社会への価値観に立脚したアチーブメント・オリエンテーションの階層への積極的働きかけにより“めだため消費”による画一的生産の増大にむすびつけることに日常のデザイン研究を行なっている。

(場長 大沼加茂也)

千葉県工業試験場

当場のデザイン課には課長1、技師3の計4名がおり、県下のデザイン関係全般の業務を担当し

ているが、その内容を専門別にみれば家具、雑貨、グラフィックの3部門に分けられる。

本県の家具はほとんど注文生産で、種類も多くなかでも学校特別教室用家具や、事務用、応接用家具の比率が高く、受注のつどデザインの必要性に迫られている。一方既製品家具業者は少なく、船橋、岬、佐原、茂原地区に散在し、ほとんど東京地区への受注出荷であるので、デザインの良さ、近代性等が強く要望されている。そのため当課においては設計と製図技術の指導が多い。また当場産業工芸課と連携して、新材料の導入ならびに製品の構造、強度等の研究、新種家具の開発等を行なっている。

雑貨は約120業種あり、大半は家内工業的小企業の部品メーカーで、やや量産形態をもつものとして竹釣竿、熊手、金属手動掃除器、計量器、アンチモニー製品等があり、また少数の陶器、ガラス工業が花瓶、灰皿類を製造している。袋物は当県独特のラフィヤ繊維加工品、ビーズ細工、皮革によるハンドバック、弗入、ショッピングバック等があり、プラスチック製品としては装身具がある。また織物には県文化財の銚子ちぢみ、唐機織等がある。手工芸的なものとしては木、竹、貝による置物類、文具、小箱類があるが、いずれもデザイン以前の材料、技術、価格面における問題

が多い。食品類では県特産のしょうゆ、みそ類の包装、ラベル類の改善に関するデザイン業務が最近増加してきた。

グラフィック関係の業界は、活字印刷が主体で、高級ポスター、パンフレット類はほとんど東京業者へ発注されデザインの指導対象にはならないが、公的の宣伝印刷物は當場でデザインすることが多い。

以上の県下デザイン事情に応ずる当課最近の業務内容は次のようである。

1 デザイン傾向および事情調査

- 1)家具 優良家具デザインの調査アンケートによる調査、資料作成、金具類の分類収集
- 2)雑貨 全国観光土産品の調査と資料作成、県内物産の指導資料作成

2 デザインによる製品性の向上研究および指導

- 1)家具 フレキシブル家具のデザイン研究
- 2)雑貨 新製品開発研究および指導
- 3)テキスタイルデザインの研究および指導

3 指導

- 1)研究会、講習会、研修会の開催
- 2)資料配布、依頼調製
- 3)巡回実地指導

(デザイン課長 野口恒喜)

東京都立工業奨励館

来る12月1日に東京都立工業奨励館は、名称を工業技術センター(仮称)と変更して、北区出井頭町で新しく発足を予定している。この組織としては、現在の工業奨励館と電気研究所とで作られることになっているが、電気研究所と当館の化学部および材料部の一部が、すでに北区に移転し業務を行なっている。建物は現在工場棟の仕上げ段

階でその他は全部建設を完了しており、当館の残りの部分、すなわち管理部分、機械、材料、工芸も、11月中旬に移転を終了する予定になっている。

現在の工芸部は、巨大な東京の多くの問題点を解決するには、あまりにも小さすぎる組織であるが、工業デザイン・特殊印刷、金工・塗装・木工の技術区分が、意匠と生産工芸の二つの研究室に

包括されている。工芸部が今後工業技術センターの機構の中で、増員計画がどのように推行されるかが問題であるが、現在の小さな組織で、デザイン行政を都政にいかにか位置づけるかの問題提起から、解決点を見出していかなければならない。

たとえば、デザイン行政の一つとして、非常に広範な都民の利益、および企業の技術水準の向上をはかるとき、単なる中小企業の技術関係の試験研究・指導の三点からの解決だけではなく、デザインの遅れている公共物のデザインも、東京という大都市における公設機関として、組織的に取り組む必要があるのではないかと考える。

急速な都市化・情報化・技術革新の中でデザインのシステム化の方向でしか、問題解決はありえないし、社会に貢献する環境形成をどのようにするべきかという観点に立って、日々のデザインの仕事を処理しているのが現状である。

当面の業務の内容としては、研究・受託研究・依頼試験・講習会・研究会・巡回指導などである

神奈川県工芸指導所

公設試験研究指導機関としての当所は、その使命として関連地場産業の振興に努める事を目的としている、よってデザイン研究についても対象業界の抱えているデザイン上の問題点を捉えながらの研究テーマの選定と、地場産業としての産地デザイン向上を企図する先導的研究テーマの両面につき研究を進めている。

この両面のウエートの如何は極めて流動的な経済の移転が関係業界に及ぼす影響と、業種別業界の実情により異なりを見せる事はその対応上避けられないものである。

昭和45年度デザイン研究を実施するに当り上記の点を考慮し特に下記3点を重点として実施す

業界からのデザイン依頼は、処理に多くの月日を要するものは受託研究とし、その他は一般の依頼で処理している。

研究としては、42年度より子供乗物の協同組合の技術向上を目標として、三輪車を中心にした製品開発のテーマと、本年度より子供用品のデザイン・学用品・運動用具その他、および量産家具のデザインのテーマを持っている。

子供乗物のデザインでは、人間工学的分析から二次元マネキンを作り、それにより市販製品の人間因子の抽出と適性化、また新機構による製品開発と試作などを通して、本年度で一応の目ヤスをつける計画である。

量産家具のデザインでは、硬質・インテグラルフォームによる家具の試作研究の他、アルミニウム管による折りたたみ、スタックなどのいすのデザイン、また家具のシステム化の検討の中から、最終的には生活環境の道具づくりを指向したい。

(工芸部意匠研究室 小寺節夫)

る、特に今回は所内においてデザイン、加工、塗装技術各担当者がプロジェクト・チームを編成研究を進め総合的効果をよりスピード化するように努めている。

1 輸出木製洋食器類のデザイン開発研究

従来からの単品デザイン追求から産地カラーを加味したラインプロダクト化による一連のデザイン研究を主体とし、その一部は外部デザイナーに依頼する企画をたて、使用木材もこの品種では未利用材の試用と、その塗装技術による試作については直接業界へ依頼し、商品化への過程におけるデザインと加工技術の結節の容易化を企図している。

2 輸出向指物類のデザイン試作研究

各種ボックス類生産業界を対象とし、その持つ指物技術ベースをより高級化商品づくりへの指向を試みるべきデザイン研究に重点を置き、デザインの試作は業界へ依頼し、表面加飾法についてはスクリーン印刷技術の各種応用を試み実施する。

3 家具類のデザイン研究

収納家具の部材一部をプラスチック化するデザイン追求を行ない木製家具類への導入効果測定を試作品を通じておこない木製家具業界のための資

料とする。

経営研究

1 照明器具のデザイン研究

竹材とプラスチック利用による室内用照明器具類について実施

2 鎌倉彫商品のデザイン研究

鎌倉彫商品の用途性への適合デザイン研究

3 ギフト用品のデザイン研究

小物挽物技術主体の各種デザイン展開研究

(所長 露木 保)

長野県工業試験場

長野県の木工関連企業は、家具、建具、弦楽器スキー、ミシンテーブル、漆器、諸木工、土産品等の広範囲におよんでいる。弦楽器、スキーは地域の特性に適した産業として育ち、また漆器は県内唯一の伝統工芸産業としての地歩を保ち、土産品は観光地としての需要に支えられ発展して来た。

ところで産額から見て最も大きな家具は、長野松本、伊那を中心に生産され、信州家具の技術に立脚し、更に現代企業としての体質の具備に努力して来たが、最近の量産技術の普遍化、流通機構の変革と広域化によって、良い意味における「地域性」の喪失という大きな問題に逢着している。

公設機関は地域産業の振興、企業の発展に奉仕することは当然ながら、現場では特に上述の問題に着眼し、デザインが生産企業の命脈を決するファクターとなることを重視して、ここ数年、県特産材の有効利用による家具、建具、室内装備品のデザイン研究と商品開発に寄与すべく、栃、みずめ材によるデザイン研究を推進し、更にカラマツに及んでいる。特に現場では、全国においても独

壇場といわれるカラマツ材の工芸的利用による商品開発研究にとり組んで来た。

カラマツの利用については、材料の技術的処理（脱脂乾燥）が大きな前提条件となったが、技術陣はこの困難な基礎研究を確立完成し、デザイン技術とのタイアップによって新商品開発へのアプローチを展開し、その研究成果は関係各方面に大きな話題を提供している。

地域独自の製品、強い個性と個有技術をもつ商品の創造が要求される現代であるが、木工業の産業基盤は底が浅く、体質は脆弱である。激しい時代の変化に対処しきれない後進性をいかにして克服していくかという問題と共に、この個性ある商品の開発という目的へのステップとしてカラマツ家具デザインの研究に傾倒しているのである。

また、これのみでなく一般デザイン業務として家具建具化粧材料の利用傾向調査、海外木製品室内装備の新傾向調査、資料蒐集配布、新材料新樹種の応用によるデザイン研究、特にプラスチック素地と木材との相互利用に関する研究、金属高分子関連産業への工業デザイン研究等を実施してい

る。

家具に例をあげて言えば、非常にデコラティブな高級なものと、単純明快にそしてカラーフルなものと同時に消費者にアピールしている一種の混迷を思わせる、多様性が常識化した時代である。それだけにデザイン企画にも悩みの多い現代

であるが、終局においては、デザインとは人間のためのものである。身勝手なお役所デザイン、遊びのデザインに陥らないことを信条としつつ、業界に直結したデザインの向上を目標に努力したいと念じている。

(木工部長 大日方 秀夫)

石川県工業試験場

本県には九谷焼、輪島塗、山中塗、加賀蒔絵、桐工芸、加賀友禅など数多くの伝統産業があり、我が国においては京都と共に古くから極めて特徴がある。これら本県の特色ある伝統産業には歴史をふりかえると、その時代相応のデザインがあり伝統として今日に残されている。良いデザインというものは長く伝統を持続するものである。しかし時代の進歩と共に技術革新がなされ、いちぢるしい経済成長の今日において、デザインも当然変ってこなければならない。企業が近代化され、生産工程が機械化されればされるほど、材料と生産技術を考慮して今日の生活様式に調和したデザインがなされなければならないし、又たえず使用者の立場に立って人間性のある愛される親切なデザインを創意工夫しなければならないと考える。

特に1970年代は生活様式がいちぢるしく変化をきたす時代であり、住宅産業が重点課題となってきた。住宅が規格化される事を予想した室内装飾品、家具調度品などの簡素化されたデザインが必要である。又一方中産階級以上を対象とした高級製品も考えねばならない。生活の中のいこいの場をゴージャスなムードで、人間生活をより豊かにする手工芸技術を生かした高級製品をつくる必要があると思う。

当試験場においては、かかる見地に立って当県の伝統技術を生かした高級製品の開発に重点を置き、デザイン研究の方向を指向している。すなわち、家具類については、輪島や山中などの沈金技術、蒔絵技術を生かした高級家具や、ケヤキ材の木目を摺漆により素地肌を生かした家具セットなどをデザイン試作している。これらの一部は業界においても当場の指導により生産段階に入っている。又金具にはロストワックス法を取り入れた精密鑄造法による高級金具をデザイン試作し、伝統産業を生かした新商品づくりの研究を進めている。以上は当試験場のデザイン研究の一部を紹介したにすぎないが、昭和45年度におけるデザイン関係の研究を列挙すると

- 1) 繊維デザイン研究として、複合模様撮影装置応用のもの、栄織物の配合研究（市場における繊維製品の色彩傾向調査）
- 2) 陶磁器デザイン研究として、スクリーンプロセス石版転写併用による九谷焼絵付の研究。
- 3) 工業デザイン研究として、高級漆塗家具の研究、発泡樹脂による椅子の研究、住まいの環境デザイン調査研究。などで9名が担当している。

(産業意匠部長 赤川康夫)

愛知県工業指導所

愛知県工業指導所の意匠課は産業工芸部にあって、自主研究と受託研究を実施している。

自主研究としては県内企業における工業技術的な面においての製品の改良発達をプロダクトデザインの見地から、毎年2ないし4のテーマをもって実施している。

受託研究は業界団体、組合、企業からの依頼によって研究を実施している。

その主たる対象は、木製品・プラスチックおよび金属製品である。

＜自主研究の紹介＞

・住宅用家具のデザインおよび試作

(昭和44年度)

いす式の生活が指向されている現在、伝統的な「いす張り」技術を生かし、居間セットとしての寸法の統一を調査、人体計測値などで求め、ひじ掛けいす、ソファー、スツール、コーナーテーブルを多目的な使いやすいセパレート方式とし、構造的にも「組ばね」の良さを確認した。

・プラスチック日用品のデザイン(昭和44年度)

容器に収納されるものの選定、分類をティーセット、調味料などに分けて、容器にコンパクトにセット化し、互換性をもたせた。

使用機能の集約化、視覚的統一を提案的にデザインし、プラスチック容器の新しい応用面の

開拓と質的向上を図ることができた。

・ガステーブルコンロのデザイン(昭和44年度)

コンロの使用上の問題点「つまみ」の操作性や外形の視覚効果の向上をはかるため基本形を40案作って検討した。また「ごとく」の安定性を調べるため、モデルを作って倒れる角度やその時の力を調べた。全体のデザインは加工性を考慮して一口にも二口にもなる形とした。

・住宅内装壁面の研究(昭和44年度)

住宅の内装壁面を合理的に活用するため装飾的な壁面の装置化を試みたもので、「組立て式床の間」を提案したが、これは従来の形式的なものを改善し、せまいへやにも向き、分解のできる構造のもので、今後の住宅装置の開発的方向を見出した。

・家具装備品の住宅壁面化研究

(昭和45年度計画)

建材・建具・家具装備品の品目の拡大と製品開発をはかるため、育児遊具の壁面化や室内壁面の道具化を究明する。

・室内装備品の適正色研究(昭和45年度計画)

インテリアにおける製品、装備品の色彩について、その個有な機能、視覚的效果、消費者の嗜好色など色彩決定の諸要因を究明し、製品計画における適正色の設計基準を求める。

(意匠課長心得 本多正之)

愛知県産業貿易館

当産業貿易館におけるデザイン振興事業関係の概要は次のとおりである。

1 日本優秀デザイン商品輸出推進事業について

国などの行なう日本優秀デザイン商品輸出推進事業に毎年参加して県内産業のデザイン向上と優秀デザイン商品の輸出伸長を図っているが、本年

度より、財団法人日本陶磁器意匠センターの出品展示小間（当館常設展示コーナー）に中部を中心とした本事業により選定された陶磁器指導製品をはじめ高級品輸出対策事業の陶磁器指導製品を展示して販路開拓に努めている。

2 デザイン振興事業について

デザイン相談をはじめ、デザイナーのあつ旋を行なうとともにデザイナー養成として東西一流講師を招へいして”産業デザイン講座“の長期開催や、各国の優秀デザイン商品を収集、常設展示しこれらの写真資料集をも発刊して参考に供している。

3 デザイン啓蒙事業について

毎年行なわれている日本輸出デザイン展に参加しており、当地における総合デザイン展としては国立ならびに公設試験研究機関をはじめ各種デザイン団体の協力によるニッポン グッド デザインショーを回を重ねて実施している。

4 その他のデザイン振興事業について

日本貿易振興会の行なう短期デザイン研修生の海外派遣制度に参加するための予算化をはじめ、繊維・雑貨・機械の各デザインセンターが行なう

講習会や研究会などに共催して助成しており、本年度より新規事業として機械デザインの重要性にかんがみ実地巡回指導をも関係機関と協力して実施する。

5 デザイン振興機関設立に関する調査・準備

国際化時代に対応する産業デザイン水準の向上強化をはかり、機能的・合理的なデザインの商品化が促進されている今日、世界市場において各国の特色ある豊かなローカル性に富んだデザイン商品の開発が進められている。この地域においても個々の企業はもとより、一般消費者にいたるまでデザインの高級化や多様化の必要性について総合的に深く追求するために、今後伸びゆく中部経済圏を中心とした総合的なデザイン振興機関を設立して、国の施策に沿った新しい各種情報を提供するとともに地域におけるデザイン振興を行ない、既設デザイン振興機関と連携いを取り中部の産業デザイン政策を積極的に推し進めていく、新しいデザイン創造の推進力となりうる実施機関の設立についても調査検討中である。

（業務部デザイン室長 若園 晃）

三重県工業試験場

当試験場のデザイン業務は繊維係に属するものであり、これから紹介する内容も、繊維デザインに関するものである。

三重県の繊維業界の内約は、タオル、綿スフ、漁網、燃糸、メリヤス、手袋、タオル染晒等の企業により成っているが、明治37年に生まれた三重タオルが、当業務の中心的なものとなっている。

デザイン業務は、タオル織物についての研究であり、内容としては、年間を通じてのタオル新柄デザインの研究と新製品開発研究試作品である。

タオル織物のデザインの高級化を、インテリアとの配色調和に重点をおいた自由研究試作の試織であり、その発表展示会を催し、デザイン技術の高度化、デザイン意識の昂揚、デザイン感覚の向上を促す目的とするものである。次に巡回技術指導の実施を定期的に行い、タオル製品に於ける、現実的な問題点を専門分野の講師を招き、現地指導を行うものである。次にデザイン講習会の開催。これは、業界にとって必要欠くことのできない一般的な色彩基礎知識から、カラーコーディネート

に到るまで、情報化時代の先端を行かねばならないデザイン面の講習を専門講師より業界に促進させるものである。又、流行基調色の見本帳作成、嗜好色の調査など流行色の認識や、日常の嗜好色の変化を調査研究し配布する。研究報告や素早い情報の伝達のための繊維ニュースの記事も必要なものとなっている。

次に、当場の大きな比重を示めているデザイン研究として、一般デザインの技術相談、デザイン依頼試作品の調整である。実際に製造段階で起

る色彩問題の数々を、現地に出向いて相談をうけその指導に当り、又、図柄決定の依頼調整もデザイン業務の大きな研究内容といえる。

生産性の拡大、デザインの高級化促進とうたわれている繊維一般のデザイン面に、ややもすれば遅れがちなタオル分野で、少しでも前向きで、漸新的で、新加工技術も含めた新しいタオルデザインを、主体あるものへと試作研究を行なう。

(技師 岡田征之)

京都府立中小企業総合指導所

京都の伝統産業は西陣織をはじめ清水焼など多種多様の業種があり、その製品は、いずれも高度な手工技術とすぐれたデザインを特色としています。

しかし、これらの業種の殆んどは、伝承的技術を主体として発展してきたため、技術革新の著しいおり、デザインおよび生産技術の近代化など、数多くの問題をかかえております。

そこで、昭和44年4月に当指導所に工芸技術課を新設し、生産技術の改良研究、新資材の研究、デザインの指導など、積極的に研究開発を行なっています。

設置以来、年次計画のもとに試験研究機器の整備を図るとともに、各業種に応じた研究指導体制の強化に努めております。

なお、デザイン関係の研究指導内容は次のとおりであります。

I 研究内容

- 1 伝統産業製品のデザインの調査研究
- 2 伝統産業製品のデザインの改良研究

3 新製品の試作研究

II 指導内容

- 1 伝統産業製品のデザインの改良指導
- 2 日本優秀デザイン商品輸出推進事業
(**優**事業のデザイン指導)
- 3 巡回指導
- 4 講習会および技能者養成講座

イ 長期デザイン講習会

京都伝統産業青年会会員を対象

6月～11月 (週1回, 24回)

ロ 短期デザイン講習会

ハ 色彩・造形技能者養生講座

伝統産業製造部門の青年層を対象

6月～11月 (週1回, 24回)

ニ 彫塑技能者養成講座

京人形、京陶人形業界の青年層を対象

6月～11月 (週1回, 24回)

ホ 上級運筆講座

10月～昭和46年3月 (週1回, 24回)

(工芸課長 米田正一)

大阪府立工業奨励館東大阪分館

デザイン研究について、何をどのようにするかを決定することは、仲々むづかしい問題である。

しかし、最近では企業のデザイン認識が増すにたがって、次第に高度な内容が要求される傾向にあるため、これらの指導態勢として、研究にウエイトを置かざるを得ない実情にある。

さて、当館デザイン第1課で実施した団地用スチール収納家具の試作開発について御紹介したい。

最近、我が国の生活空間および生活様式に大きな変化が起りつつある。特に団地住宅の出現は、日本人の伝統的生活様式の変化に強い影響を与えている。生活空間と生活とは非常に関係が深い、生活が発展すれば生活空間が変り、また、空間が変れば生活も変るように弁証法的な関係にある。

生活様式の変化は（和洋二重生活から、洋風化への移行）生活手段としての家具の多様化を促進する結果となり、アパート生活に空間問題をなげかける現状にある。ことに、生活の高度化は生活用具の多様化に発展し、収納家具の不足は深刻である。

家庭用鋼製家具の開発試作は、以上の問題究明と鋼製家具業界の課題であり、家庭環境との調和を具体化することである。この問題を進行させる

にあたって、将来の日本人の生活様式であるアパート生活（団地）を対照として実施した。

収納家具のあり方と問題点

A あり方

- ・転用性の大きい家具・空間利用によい家具
- ・積み重ね可能な家具

B 問題点

- ・市販家具に対して、機能面での不満が多い、また、寸法がメーカーによって、まちまちであるため、今後家具のモジュールの統一が必要である。
- ・家具の置場所については、狭い住宅ほど、その困窮度が高い。
- ・古い家具の処分法として、古いものに対するすて難い愛情が大きな障害となっているようである。

以上をデザイン・ポイントして試作開発したわけであるが、これによって問題のすべてを解決したとは考えていない。

むしろ問題を解決することによって起る新たな問題に直面している次第である。しかし、この開発試作によって、基本的な方向は打開出来たと思われる。（紙面の関係上、詳細を省略しました）

（デザイン部長心得 中尾恵一）

鳥取県工業試験場

当試験場のデザイン活動は、産業工芸科のデザイン係において行なっている。何分、小県の総合試験場の通弊として30名の職員で庶務を除き9部門を担当している関係上、デザイン係は2名のスタッフで県内業界の指導と研究に従事している。

守備範囲の大部分は、椅子物、箱物の家具デザインと、因州和紙関連のパッケージ及びその応用製品のデザイン、そして若干のクラフトの範疇に入る部門と、伝統ある浜縋を中心とした縋のデザイン等が主なものである。

地方公設機関の使命としては地場産業と直結して、その振興にあるので、当然依頼業務が多くなり、試験場独自の研究との噛み合わせを如何に円滑に運営するかという点に、尽きるようである。

幸いにして家具部門では鳥取の曲木椅子という大きなイメージが鳥取を代表しており、又、民芸家具という、永い伝統に培われた基盤がユニークな存在を示しており、家具移出県として関西方面でも万丈の気を吐いている。

次に和紙については産地としては今日わずかに、埼玉、山梨、福井、岐阜、鳥取、愛媛、高知と数県を数えるに過ぎない。往時、隆盛を誇った多くの産地も脱落し、反面、書道ブームの旺盛な需要に支えられて、現在では寧ろ活況を呈している。その他、民芸紙と称して、新しい需要の開拓につとめ、例えば、レターセット、置クッション、絞り染技法、財布、アルバム表紙など附加価値の高いものから、壁紙などインテリア部門への進出、輸出増進の具体的な措置など意欲を燃や

している。

次にクラフト製品の概況について述べると、対象業種としては竹製品、それから、砂丘大山を中心とする観光地で売られる土産物に類するもの、例えば、壁掛、彫刻、紙塑人形、流し雛、窯業製品などである。

最後に繊維製品関係であるが、今まで手がけて成功したものには、緋の近代化により、椅子張裂地への応用と、新規開拓がある。

県の基本方針としても、以上の製品の販路拡張と振興策には力を入れており、東京、大阪での各種の見本市を通じて逐年、顕著な成果をあげている。中でも家具見本市は本年で11回を迎え、技術指導はもとよりデザイン面でも各処に我々の意向が反映されている。その他、毎年、開かれる全国試験所作品展への参加を通じて研究員相互の資質の向上の場として役立っている。

(場長 白井 一朗)

徳島県工業試験場

当场デザイン科は昭和43年第2次整備充実5ケ年計画において、本県産業デザインの振興を図ることを目的として新設し、現在地場産業の実態に即し、木製家具、繊維、雑貨製品等のデザイン事情の調査研究に務めると同時に各科と相協力しデザイン行政の総合的調整処理に当たっている。

現在実施している研究業務の概要はつぎのとおりである。

1 木製品家具デザインの研究

最近の住居との関連性において、機能的型態に基く調査研究を進め、特に若い世代より要望の強い、ミニ化粧台について試作研究を行っている。作品は大量生産を前提とし部材の均一化を計ると

ともに収納輸送を考慮し、ノックダウン型式を採用し、仕上げは明るいカラーを主体としている。特に全体のフォルムの統一を計り、小型化粧卓として一応の条件を具備せしむることに留意し検討している。更に今後の課題として鏡枠のデザインならびに製作上最も重要なポイントとされているジョイント金具の研究について各部材の条件に焦点を合せ調査研究中である。

2 先染織物デザインの研究

特産阿波しじら織は、本場正藍染の伝統技術を背景として、その素朴で上品な色と香りは、しじら織特有の風合と肌ざわりにマッチし、夏衣料として最適の定評を得ている。今後更に本製品の振

興を図るためにはデザインの改善向上が強く望まれている。この調整研究のため先づ市販製品約300点の図柄について分析検討を行ったが、その殆んどは単調なストライプおよびチェック柄であり、藍染の濃淡7～8種を基調とした民芸的な作品として無難にまとめているが、健康的で明るい現代の若人向き図柄に乏しい。このため特に着用する人のイメージ、雰囲気等を再調査検討するとともに適切な色の選択と配色並に、緋糸、意匠燃糸等の併用による新鮮味のある図柄調整に努めている。なお将来着尺地の外、服地、インテリア・ファッション等への進展を考慮において、プリント柄、ししゅう柄等の新規性のあるデザインを調査研究中である。

3 雑貨製品デザインの研究

竹製品、プラスチック製品、大谷焼等について、従来の花器、人形、すだれ、玩具等手工芸品のデザインの改善に努めると同時に、各素材の特質を活かした建築材料或は各種家具等の工業製品のデザインについて検討している。

なお、本県においてはデザイン専門委員会を設け、当場にその事業を委託され、研究機関、学校、業界のデザイン担当者および一般デザイナーより委員を委嘱編成（25名）し講習会研究会のほか、県内産業デザイン懸賞募集等を実施し、デザイン技術の高揚と特産品デザインの振興に寄与している。

（デザイン科長 大西建次）

高知県工業試験場

1 当場におけるデザインに関する業務は、総合試験研究機関の中に存在する立場上当科としての研究テーマのとりあげ方も、関連のある各科との共同によるものと当科独自のものとに分れる。

県下の産業事情は製造業の90%以上が中小企業であり、この中での産業デザインの占める範囲は狭い。業種別にみると木竹製品（家具・建具）装飾品、雑貨、手工芸品があげられるが、研究の対象は工芸デザインにしぼられ、当場としての基本方針である工業デザインについては基盤作りの段階である。当面する問題点としては業界の近代化の遅れと量産体制の未整備があげられるので、これらの育成指導と新製品開発、デザインの改善に努めている。

特産素材の高度利用とデザイン改善

1) ヤナセ杉利用の家具

日本三大美林の一つとして当県の誇るヤナセ千本山の杉材の特質を家具に利用したもので、

座卓、書棚セット、飾棚等43年度より継続試作品を作りデザイン、塗装表面処理の問題にとり組んできた。

2) ヤナセ杉利用の民芸みやげ品（1）、2）木竹科共同）

3) 民芸陶器のデザイン開発（窯業科共同）
尾土焼きの伝統的技術を残し、釉薬の研究とデザイン開発

4 土佐和紙の二次製品におけるデザイン研究

4) 土佐の鬮犬に関するデザインおよび加工技術の改善

己にみやげ品として市販されている木彫鬮犬は、手加工によるため量産にむいていない、当場で考案した木製鬮犬は機械加工によるためデザインも簡素化し、鬮犬の逞ましさを表現させ量産出来る。意匠登録出願中

2 昭和45年度の計画

土佐の民芸品総覧としての資料がないため、県

下に散在する各種民芸品を調査分類して、時代、所在地、形態、機能等について資料を集め、今後のデザイン研究に利用する。(継続)

経常研究

- 1) 土佐古代塗の伝統的パターンの調査および新古代塗の開発研究 (木竹科共同)
- 2) 家具、ヤナセ杉利用家具の機能とデザインの研究 (木竹科共同)
- 3) 民芸みやげ品、ヤナセ杉を利用した観光みやげ品向き新製品考案
- 4) サンゴ、紅れん石、古代サンゴ利用によるデ

デザイン改善

- 5) 民芸陶器、42年度より継続研究で、試作品は業界の要望も加味してデザインおよび土佐釉薬の開発研究 (窯業科共同)

高知県新製品あつ協議会、44年に設立されメンバーは公設の関係試験研究機関および関係団体の担当者であり、毎月の定例会には当场始めその他から提出された試作品について検討され、その結果により関係方面にあつ旋される。

(デザイン科長 杉田重信)

福岡県大川木工指導所

1 当所でのデザイン研究としては、昭和41年度から製品科学研究所の指導により、木材の樹脂注入による家具部材への応用を研究テーマとして、当所加工技術係において基礎試験をおこなっており、その試験結果に基いて中間発表として第15回全国試験所作品展へ広掛椅子、テーブルを発表、そのほか食堂小椅子、茶テーブルなどの試作をおこなっている。

木材の樹脂注入は、特に軟質の木材(輸入南洋材)に合成樹脂を注入して硬質化し木材固有の諸性質(不均質性、吸脱湿性、歪み、反り等)を制御して、材質の強化ならびに安定性の向上と木材の有効利用を目的とするものである。

2 昭和45年度の計画

昭和41年度より技術係において樹脂注入材の乾燥、接着、着色等の基礎的な試験結果、製品化できるデータが得られたので、本年度は最終のとりまとめとして、注入材の製品化を目標としてデザインの開発研究をおこなっている。

- 1) 樹脂注入処理材による開発デザインの研究
 - ・特殊箱物家具へのデザイン研究

- ・整理タンス、手元タンス

(新民芸調家具)

- ・分解式の棚・ポール等
- ・脚物家具へのデザイン研究
- ・ストール、アームチェアー

- 2) 樹脂注入処理材による建具デザインの研究

樹脂注入材利用による耐摩耗性、耐久性などを取り入れたデザインの研究

経常研究

既製家具のデザイン改善研究

創作展、見本市、その他一般商品のデザイン改善の研究

以上が主なデザイン研究であるが、当所は大川木工集団産地とのつながりが深く研究面よりかなり指導面にウエイトをかけており、全日本優良家具展、福岡市九電記念体育館で開催される1月と6月の大川家具新作仕入大会などの巡回指導も当所デザイン係の重要な業務であり、又業界からも大いに期待されている。

(デザイン係専門研究員 箴島 良介)

大分県別府産業工芸試験所

大分県別府産業工芸試験所は大分県別府市荘園町9 (〒 874) にあり、設立が昭和13年1月でデザイン研究にたづさわる職員は大分県の研究職員14名である。これらはすべて研究課に属していて同課の事務分掌規程は次の如くである。(昭和45年3月31日改訂)

- 1 製品デザインの研究及指導に関すること
- 2 生産技術の試験、研究及び指導に関すること
- 3 材料性能の試験、研究及指導に関すること
- 4 製品性能の試験、研究及び指導に関すること
- 5 産業工芸諸団体の育成指導に関すること
- 6 産業工芸技術者の養成に関すること
- 7 その他産業工芸の振興に関すること

次に昭和44年度のデザイン研究に関する業務について述べる。当所で行なうデザイン研究は正確に言うならデザインの開発研究と試作でありその材料は竹材及び木材が主たるものであるが、木竹以外県下各種雑貨産業に関して相談があればこれを受けデザイン指導や依頼試作も行っている。

I 現代住環境における木竹製品の多様化と高級化の研究試作

研究題目 1 (イ) 変幅ヒゴによるあじろ編みの開発

研究目標 竹編組品の種類は現在迄に数多く市場に出廻っているが、近年低開発国の関心も高まり追上げも激しくなって技術的にも進歩してきた。この時に当り我が国竹製品の優位を確保し、内外需要の増加を図って新編組の技術を開発する。

研究計画 従来のアジロ編み製品は各々のヒゴが同幅であることから編面を湾曲させると編目が不均等になって目のつんだ製品をつくるのが困難であったのでヒゴ幅を非平行に加工することによ

りこの種の不都合を打開して製品化をはかる。

試作	ウェストバスケット	5種
	マガジンラック	2 //
	スリッパ立て	1 //
	小物入れ	1 //

以上9種の製品を変幅ヒゴにより試作。

研究題目 1 (ロ) 照明器具の試作

研究目標 商品には輸送という問題がついてまわる。照明器具生産の場合この影響を強くうけることから輸送対策を加味した照明具の試作を行なう。

研究計画 輸送時の容積縮小化として考えられることはスタッキング方式とかノックダウン方式等があるが今回はスタッキング方式を応用して竹材を主体とした照明器具を試作する。

試作	コードペンダント	8種
	ウォールランプ	1 //
	シャンデリア	2 //

研究題目 1 (ハ) 室内用品の研究試作

研究目標 近年一般の産業界では機械化、画一化が進められ、その利点とするところも多いが一方これは我々の生活環境に入ってきてある面では生活に空虚感をもたらしている。ここで我々は室内によるこびややすらぎ等のファクターをプラスして生活にうるおいを与える木竹材製品を開発したいと考える。

研究計画 充実した現代の家庭用品という枠で竹材および竹材と木或は工業材料のような異種材との組合せを考え、品種的にも従来市場に乏しかったような卓上用品を中心に開発をすすめる。

試作	オーナメント	1種
	花筒	1 //

デスクセット 2 //

小物入れ 2 //

研究題目 1 (二) 伝統技術による編組試作

研究目標 別府地方の伝統的な荒いゴザ目編みを応用し、地域業界の手に移して効果あるよう技術と品種のかけ合わせを考えて試作を行なう。

研究計画 研究のスタート段階である点また業界

事情等から今年度は単純な形態をとりあげ、その他都会地消費者の動向上層籠の需要がかなりあることを考え層籠にゴザ目編みを応用して試作する。

試作 層 籠 3種

(所長 小田島陽一)

熊本県工業試験場

熊本工試は、化学、機械、金属、工芸、食品の各部門で構成されている総合試験場であるが、デザインは工芸部門で担当し、工芸部門は木工、接着、塗装、竹工、窯業の各業種が協力して研究業務を行なっている。本県の工業製品として独自の機械、電機製品が少ないため、これらのデザインはほとんど行なわれておらず、木竹製品、陶磁器、その他の特産雑貨関係のデザインが主となっている。

本県は、木材、竹材、陶石など原料の重要産出県として有名であるが、それらの加工業の形態は他県に比べて遅れており、特にデザイン面での遅れは著しい。従って当场としては、住宅、居住環境を中心とした、業界と関連あるものの研究を主としてとりあげている。当场における昭和45年度のデザイン研究計画は、次のとおりである。

1 木製家具デザイン研究

木材の合理的利用を目的とした木材の可塑成型製品化研究に関して、合成木材を部分的に利用して、本県特産材を活かした応接セット、食堂椅子の研究をするとともに、住宅工芸産業におけるデザイン、商品開発につとめ、機能的な問題を追及

し、特色ある企業の振興をはかる。

2 木製クラフトデザイン研究

本県の特産財である、みづめ桜、楠、モリシマアカシヤ等の特質を生かした附加価値の高い、地方色豊かな生活クラフトおよび観光工芸品の開発研究を行ない、クラフト業界デザイン振興と量産企業化の指導を行なう。

3 竹製品のデザイン研究

県産真竹、黒竹、蔓を利用して、各種の量産編組品および卓上セットのデザイン、試作を行ない、さらに集団産地育成に力を注ぎ、原材料で移出されている竹材の高級製品化により製造業界の移輸出振興をはかる。

4 磁器デザイン研究

当场における下級陶石の脱鉄による高品位化研究が成功し、すでに脱鉄工場が操業しているが、その製品化試験と新製品の開拓のため主として石こう型成形によって、量産性と地域性を生かした近代的なデザインの研究を行ない、関係窯業育成の指針とする。

(主任研究員 木田文雄)

鹿児島県木材工業試験場

当場は昭和28年木材工業専門の試験研究機関として設立以来本県における木竹工業製品及び雑貨等についての先導性ある試験研究機関として、これら業界の発展を図ってきました。業務は、業種が多様であり他工業技術の多くが資源資材の専門的研究に重点をそそぐに対し、当場は加工、組立、或は総合的な完成品について研究分野を受け持つものであり、加工技術についての当場の関係分野は陶磁器、繊維部門を除いて所謂木材を主体とした雑貨全般に亘っている。これらの研究の任務は概ね次の3点に集約できる。(1) 品質の向上又は、新用途開発 (2) 資材の有効利用 (3) 品質試験法、品質管理の確立

次に当場でのデザイン関連業務についてみるならば

1 産業デザイン研究

内地材資源不足は我が国木製工業界の当面する課題であるが、その対策の1つが未利用木材の利用、低質材の高度化である。これに必要な乾燥及び合成、構成材方法による防狂処理、特殊表面処理法、或は、曲材方式による用途拡充、その他構造緊結法、塗装法等未解決点の研究を行ない製品化への開発研究を行なっている。

2 特殊工芸製品の意匠並びに技術改善研究

地域的な加工技術、材料による加工条件、デザイン条件の基礎資料調査を行ない、適応製品への開発試作を行なっている。

3 昭和45年度は、次のテーマを計画している。

1) 発泡樹脂の利用研究

彫刻物や曲面等高度な加工技術を要するものに対して低発泡樹脂による成型法の研究並びに応用化

2) アクリル樹脂利用による成型家具の試作研究
住生活の変化に伴いプラスチック或は合成木材等の新材料による室内備品等が開発されてきつつある。本県においてもこの趨勢におくれることのないよう研究を進めつつある。

3) 県内家具類の意匠改善研究

4) 住いのための用具研究

住生活、住構造が著るしく変革しつつある現在の生活の場に適応する新しいアイデアに基づく製品の開発

5) さつま琵琶の試作研究

さつま琵琶の資料蒐集並びに試作

6) 効率的室内用具のデザイン研究

住空間の効率的利用化を前提とした機能的展開性をもつ用具の研究

(場長 藤本 猛)

全国官公立試験研究機関昭和45年度
試験研究項目一覧

<付> 内外産業デザイン団体・試験研究
機関名簿

発行月日 昭和45年8月1日

編集発行人 石田幸一

発行所 財団法人 日本産業デザイン振興会
東京都港区芝浜松町三ノ五
世界貿易センター・ビル 別館4階
〒105, 電話 (435) 5633~4

正 誤 表

頁 数	誤	正
1 頁	「はしがき」欄の上から17行の名実共は・・・	「名実共に・・・」と訂正。
5 頁	※ブロック内の注意事項末尾の「。し。」	「 し。」は削除
6 頁	二行目。(2)の名称中工業技術試作所のところ	工業技術試験所と訂正。
6 頁	下から3行目たの次の空所	焔を入れる。
11 頁	(⇒)青森県工業試験物	青森県工業試験場の誤りにつき訂正。
13 頁	(↵)岩手県工業試験所	岩手県工業試験場と訂正。
	(ト)秋田県工業試験所	秋田県工業試験場と訂正。
15 頁	(㍉)山形県工業試験所	山形県工業試験場と訂正。
21 頁	(⇒)埼玉県工芸試験所	埼玉県工芸試験場と訂正。
31 頁	(㍉)静岡県工業試験所	静岡県工業試験場と訂正。
41 頁	(↵)京都市工業試験所	京都市工業試験場と訂正。
55 頁	(⇒)徳島県工業試験所	徳島県工業試験場と訂正。
83 頁	上から9行目兵庫芦屋市上宮川町99	兵庫県芦屋市上宮川町99

